

### 3 若者・子育て世代アンケート調査

#### 3-1 回答者の属性

問1 あなたのことについて、お尋ねします。

年代、性別、居住年数、居住地区（学区）、住まい、家族構成、親の住まい、結婚と子どもの有無の回答結果は以下のとおりです。

回答者の年代は「35～39歳」、性別は「女性」、居住年数は「10年以上」が多くなっています。回答者の居住地区は「緑丘小学校区」と「武豊小学校区」が多く、住まいは「持ち家（一戸建て）」が74.6%を占めています。

家族構成は「あなた夫婦と子ども（父と子、母と子も含む）」の40.8%と「親とあなた・兄弟姉妹」の36.4%が多くなっています。また、親の住まいは「その他」が30.2%で、次に「半田市」が14.9%、「近く（歩いて行ける距離）」が14.4%、「武豊町内（1の「近く」を除く）」が13.5%となっています。

結婚と子どもの有無では「未婚・子ども無」の46.9%、「既婚等・子ども有」の44.0%が多くなっています。

図表 3-1-1 年代

区分	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	29	7.1%
20～24歳	74	18.1%
25～29歳	82	20.0%
30～34歳	89	21.8%
35～39歳	131	32.0%
無回答	4	1.0%
計	409	100.0%

図表 3-1-2 性別

区分	回答数(人)	割合(%)
男性	168	41.1%
女性	234	57.2%
回答しない	4	1.0%
無回答	3	0.7%
計	409	100.0%

図表 3-1-3 居住年数（通算）

区分	回答数(人)	割合(%)
2年未満	47	11.5%
2年以上 5年未満	62	15.2%
5年以上 10年未満	46	11.2%
10年以上	248	60.6%
無回答	6	1.5%
計	409	100.0%

図表 3-1-4 居住地区（学区）

区分	回答数(人)	割合(%)
緑丘小学校区	129	31.5%
武豊小学校区	124	30.3%
衣浦小学校区	63	15.4%
富貴小学校区	55	13.4%
無回答	38	9.3%
計	409	100.0%

図表 3-1-5 住まい

区分	回答数(人)	割合(%)
持ち家(一戸建て)	305	74.6%
持ち家(集合住宅)	5	1.2%
賃貸住宅(一戸建て)	8	2.0%
賃貸住宅(集合住宅)	72	17.6%
社宅(借り上げを含む)・寮・宿舎	15	3.7%
その他	2	0.5%
無回答	2	0.5%
計	409	100.0%

図表 3-1-6 家族構成

区分	回答数(人)	割合(%)
一人暮らし	28	6.8%
夫婦のみ(事実婚等を含む)	27	6.6%
親とあなた・兄弟姉妹	149	36.4%
親とあなた夫婦	3	0.7%
親とあなた夫婦と子ども(親と父と子、親と母と子も含む)	13	3.2%
あなた夫婦と子ども(父と子、母と子も含む)	167	40.8%
親と祖父母・兄弟姉妹	11	2.7%
その他	9	2.2%
無回答	2	0.5%
計	409	100.0%

図表 3-1-7 親の住まい

区分	回答数(人)	割合(%)
近く(歩いて行ける距離)	32	14.4%
武豊町内(1の「近く」を除く)	30	13.5%
半田市	33	14.9%
常滑市	17	7.7%
美浜町	17	7.7%
南知多町	11	5.0%
その他知多半島の市町	8	3.6%
その他	67	30.2%
親はいない	2	0.9%
無回答	5	2.3%
計	222	100.0%

※家族構成で「一人暮らし」「夫婦のみ」「あなた夫婦と子ども(父と子、母と子も含む)」と回答した 222 人が対象となっています。

図表 3-1-8 結婚と子どもの有無

区分	回答数(人)	割合(%)
未婚:子ども無	192	46.9%
既婚:子ども無	25	6.1%
既婚:子ども有	180	44.0%
無回答	12	2.9%
計	409	100.0%

※結婚については、問 20 の結果に基づいて集計しています。「未婚」は「結婚していない」又は「婚約中である」と回答した人の合計、「既婚」は「結婚している（事実婚を含む）」又は「結婚していたが、離別・死別した」と回答した人の合計となっています。

※子どもの有無については、問9の結果に基づいています。「子ども有」は「すでに子どもがいる」と回答した人となっています。

## 3-2 回答者の就業状況

### (1) 職業

問1 あなたのことについて、お尋ねします。

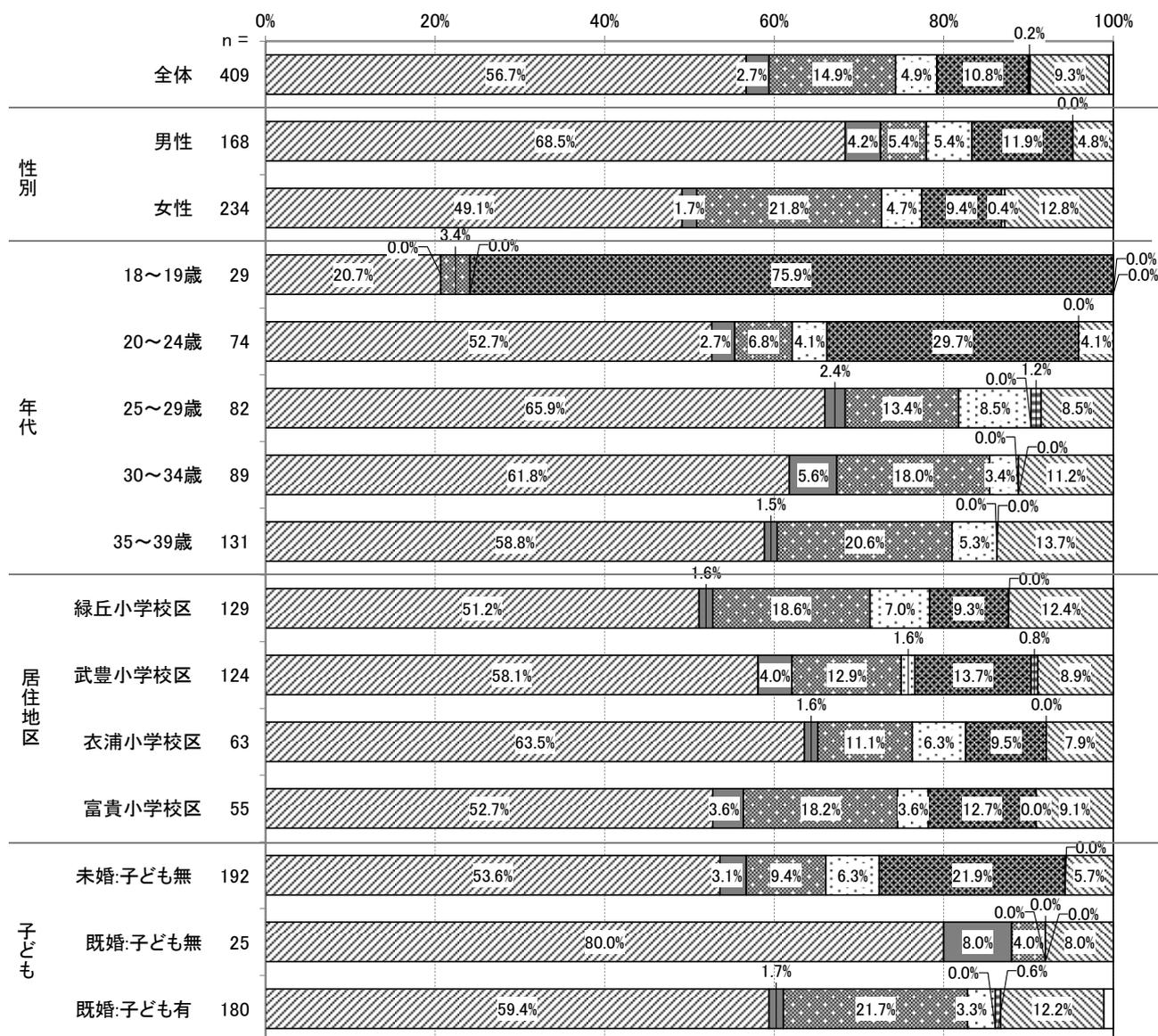
(8) 職業の有無（1つに○印）

職業については、「正社員・正職員（育児休業中も含む）」が56.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が14.9%、「学生」が10.8%と続いており、「就労・就学をしていない」が9.3%となっています。

性別	<p>○「正社員・正職員」は男性が68.5%、女性が49.1%で、男性が19.4ポイント高くなっています。</p> <p>○女性では「パート・アルバイト」が21.8%で、男性よりも16.4ポイント高くなっています。また、女性では「就労・就学をしていない」が12.8%となっています。</p>
年代	<p>○18～19歳では「学生」が75.9%と大半を占めています。</p> <p>○20～24歳では「正社員・正職員」が52.7%で半数以上を占め、次いで「学生」が29.7%で3割近くを占めています。</p> <p>○25～29歳、30～34歳では「正社員・正職員」がそれぞれ65.9%、61.8%で最も高くなっています。</p> <p>○35～39歳では、「パート・アルバイト」が20.6%、「就労・就学をしていない」が13.7%で、他の年代と比べ、この両者がやや高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校区、富貴小学校区では「パート・アルバイト」がそれぞれ18.6%、18.2%で、他の小学校区と比べるとやや高くなっています。また、緑丘小学校区では「就労・就学をしていない」が12.4%で、これもやや高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区では「正社員・正職員」は63.5%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無については、「学生」が21.9%で、他の属性と比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「正社員・正職員」が80.0%と最も高く、他の属性と比べても高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では、「パート・アルバイト」が21.7%、次いで「就労・就学をしていない」が12.2%で、他の属性と比べて高くなっています。</p>

図表 3-2-1 属性別、職業

- ▨ 正社員・正職員(育児休業中も含む)
- ▩ パート・アルバイト
- 学生
- ▩ 就労・就学をしていない
- 自営業・農林水産業・個人事業者
- 契約社員・派遣社員
- その他
- 無回答



## (2) 通勤・通学先

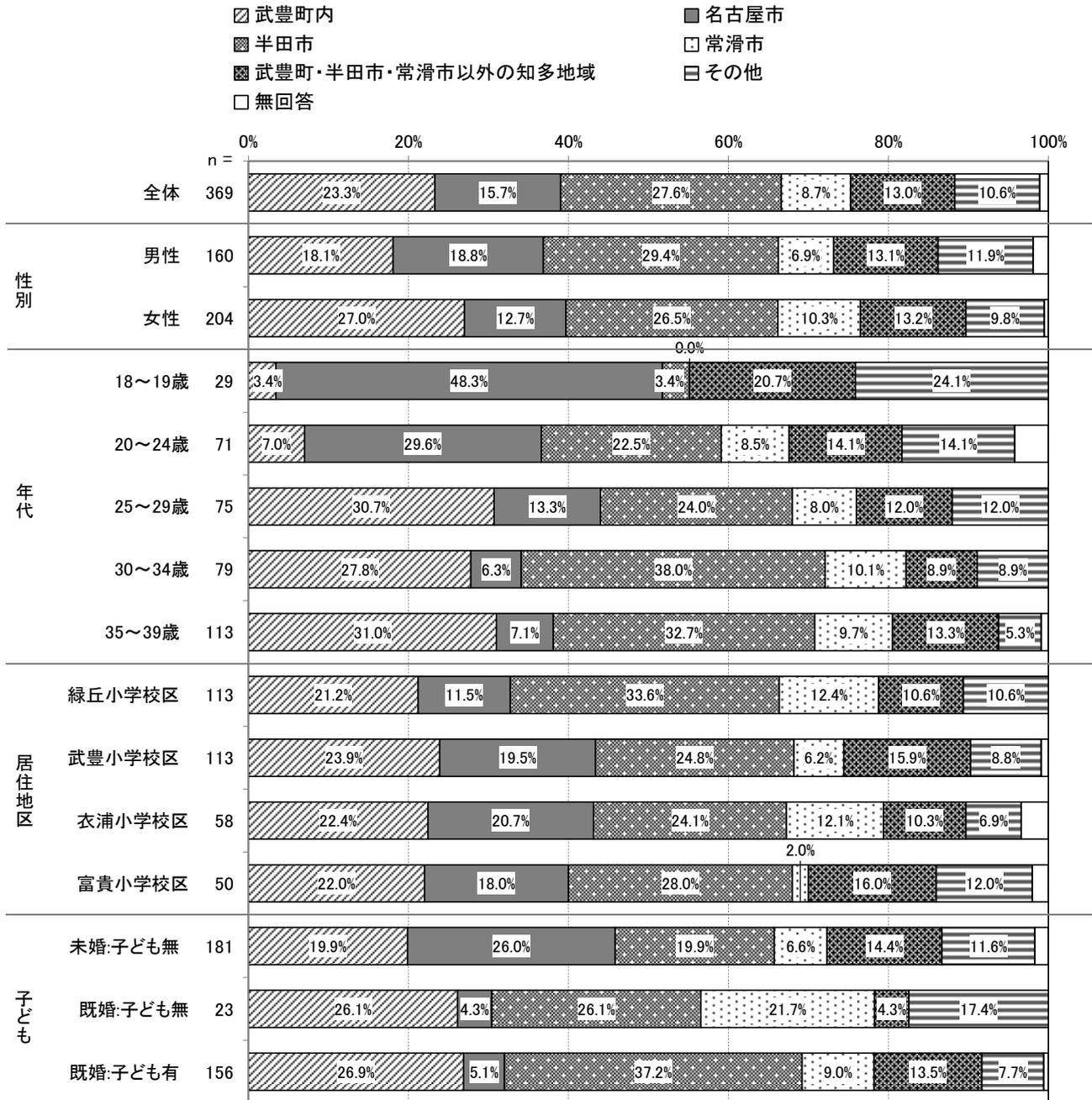
問1 あなたのことについて、お尋ねします。

(9) 勤務先や通学先の所在地(1つに○印)

前問で「就労・就学をしていない」、「無回答」であった40名を除く369名の通勤・通学先については、「半田市」が27.6%で最も高くなっており、次いで「武豊町内」の23.3%、「名古屋市」の15.7%、「武豊町・半田市・常滑市以外の知多地域(以下、知多地域)」の13.0%、「その他」の10.6%、「常滑市」の8.7%となっています。

性別	<p>○男性では「半田市」が29.4%、「名古屋市」が18.8%で、女性と比べて高くなっています。</p> <p>○女性では「武豊町内」が27.0%で最も高く、男性よりも8.9ポイント上回っています。また、「常滑市」が10.3%で、男性よりも3.4ポイント上回っています。</p>
年代	<p>○18～19歳、20～24歳では「名古屋市」が最も高く、それぞれ48.3%、29.6%となっています。</p> <p>○30～34歳では「半田市」が38.0%で、他の年代と比べて高くなっています。</p> <p>○35～39歳では「半田市」が32.7%で最も高くなっています。次いで「武豊町内」が31.0%で、他の年代と比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校区では「半田市」が33.6%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p> <p>○小学校区別にみて、いずれの小学校区も「半田市」が最も高く、次いで「武豊町内」が高く、「武豊町内」が最も高いのは武豊小学校区の23.9%となっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「名古屋市」が26.0%で最も高くなっています。これに次ぐのは「武豊町」と「半田市」がいずれも19.9%になっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「武豊町内」と「半田市」がいずれも26.1%で最も高く、次いで「常滑市」が21.7%で高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では、「半田市」が37.2%、次いで「武豊町内」が26.9%で、他の属性と比べて高くなっています。</p>

図表 3-2-2 属性別、通勤・通学先



### (3) 働いていない理由

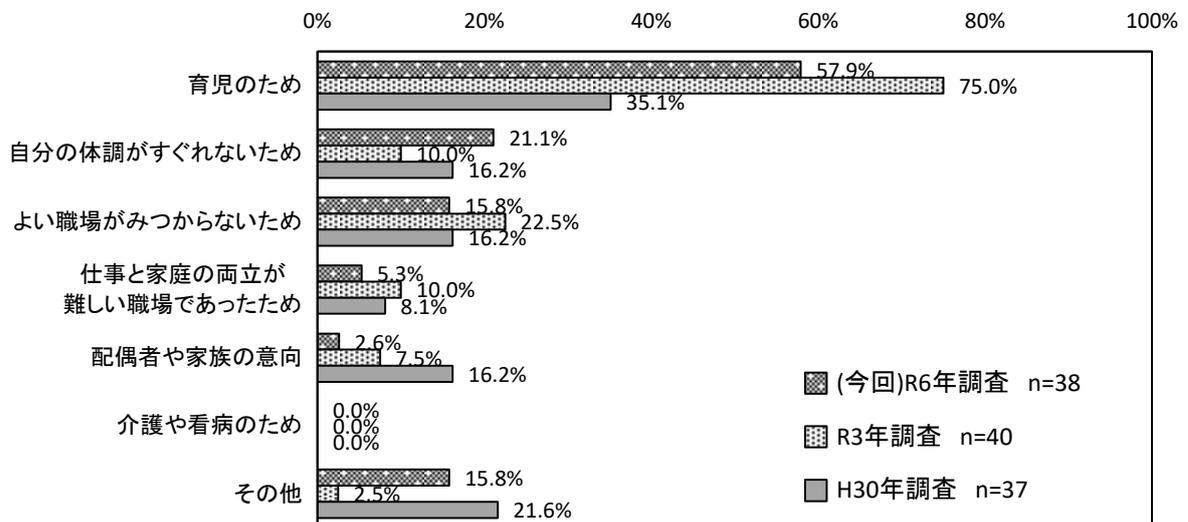
問1 あなたのことについて、お尋ねします。

(10) 働いていない理由をお教えてください。(主な理由2つに○印)

「就労・就学をしていない」と回答した38名を対象に、働いていない理由をたずねたところ、「育児のため」が57.9%で最も高くなっています。次いで「自分の体調がすぐれないため」が21.1%、「よい職場が見つからない」が15.8%、「仕事と家庭の両立が難しい職場であったため」が5.3%、「配偶者や家族の意向」が2.6%となっています。

令和3年調査と比較すると、「育児のため」が75.0%から57.9%へと17.1ポイント下がっています。また、「自分の体調がすぐれないため」が10.0%から21.1%へと11.1ポイント高くなっています。

図表3-2-3 働いていない理由（過去調査との比較） -複数回答（主なもの2つ）-



### 3-3 武豊町の暮らしやすさ

#### (1) 住みごち

問2 武豊町の住みごちはどう思いますか。(1つに○印)

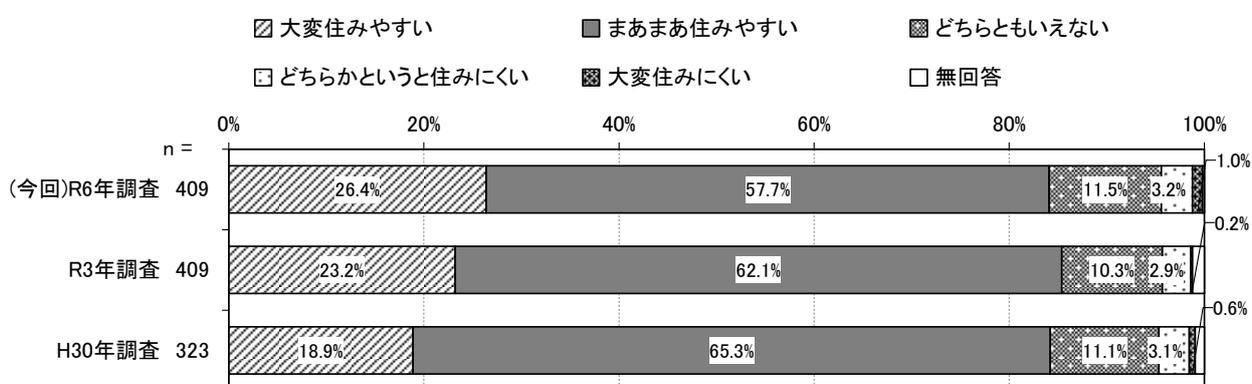
「大変住みやすい」が26.4%、「まあまあ住みやすい」が57.7%であり、両者をあわせると84.1%となり、8割以上の方が武豊町は住みやすいと評価しています。

一方、「大変住みにくい」は1.0%、「どちらかという住みにくい」は3.2%となっています。

令和3年調査では、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は85.3%で、今回は1.2ポイント低くなっています。

また、平成30年調査では、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は84.2%で、今回は0.1ポイント低くなっています。

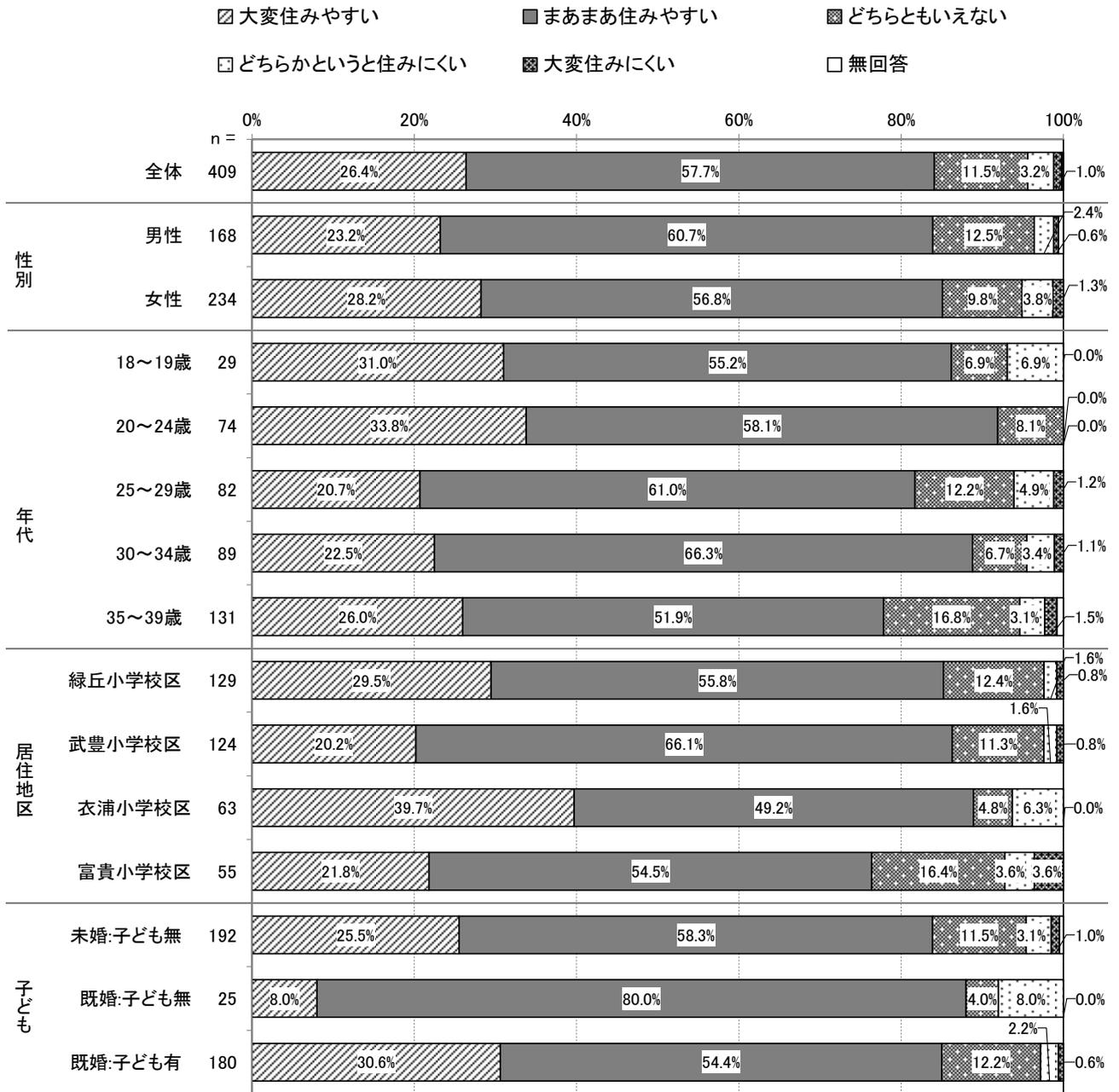
図表 3-3-1 住みごち（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合で傾向をみていきます。

性別	○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は、男性が83.9%、女性が85.0%で、女性の方が1.1ポイント高くなっています。
年代	○20～24歳が91.9%で最も高く、次いで30～34歳が88.8%で高くなっています。特に20～24歳では「大変住みやすい」が33.8%と、他の年代と比べて高くなっています。
居住地区	○衣浦小学校区が88.9%、武豊小学校区が86.3%、緑丘小学校区が85.3%、富貴小学校区が76.3%となっています。特に衣浦小学校区では「大変住みやすい」が39.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。
結婚・子ども	○既婚・子ども無が最も高く88.0%となっていますが、未婚・子ども無は83.8%、既婚・子ども有は85.0%であり、結婚・子どもの有無によって住みやすさの評価にやや違いが生じています。 ○既婚・子ども無では、「まあまあ住みやすい」が80.0%を占めており、他と比べると20ポイント以上高くなっている点が特徴的です。

図表 3-3-2 属性別、住みごち



## (2) 武豊町を選んだ理由

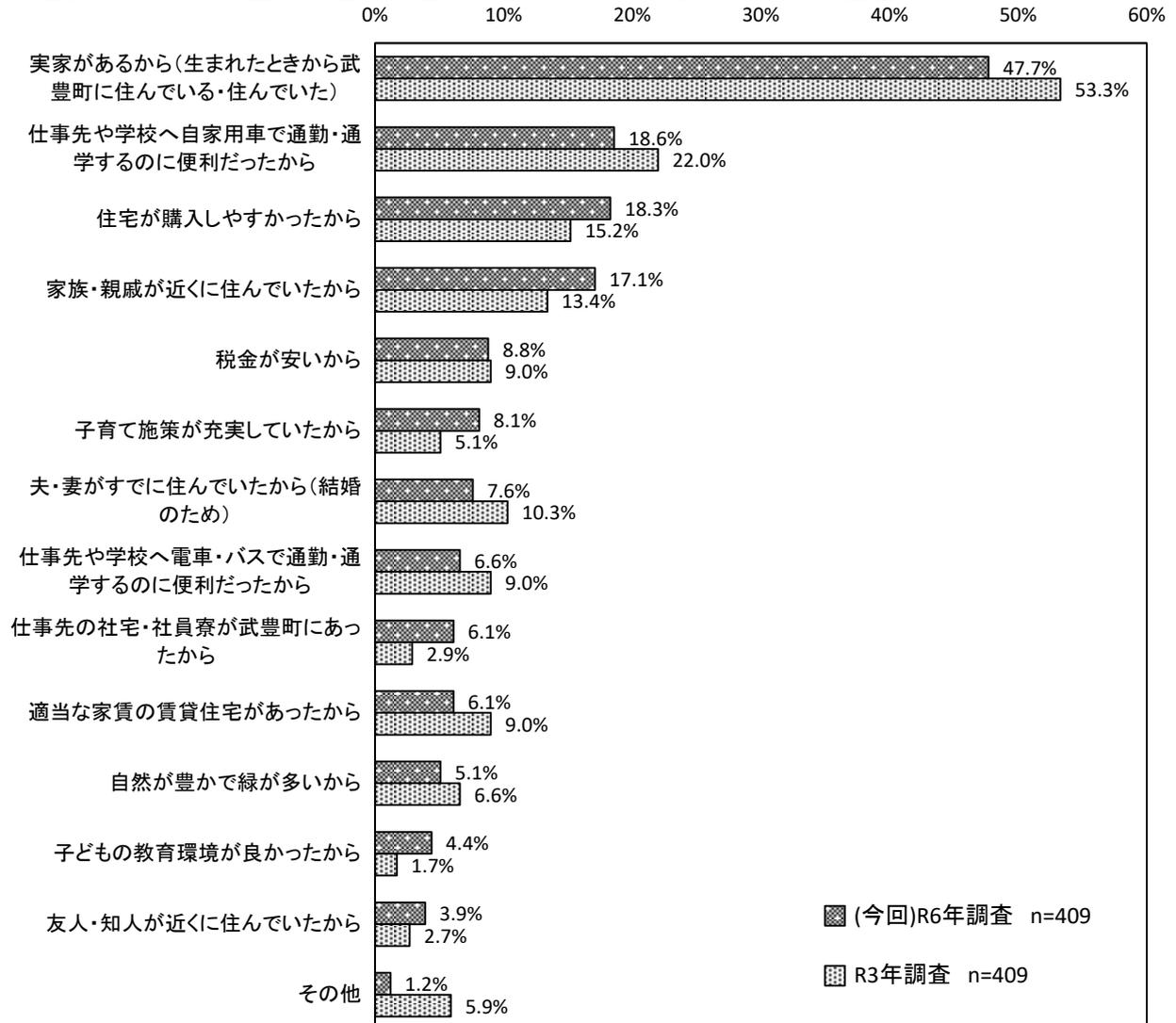
問3 武豊町を選んだ理由は何ですか。(3つまでに○印)

武豊町を選んだ理由については、「実家があるから(生まれたときから武豊町に住んでいる・住んでいた)」が47.7%で最も高くなっています。次いで「仕事先や学校へ自家用車で通勤・通学するのに便利だったから」が18.6%、「住宅が購入しやすかったから」が18.3%、「家族・親戚が近くに住んでいたから」が17.1%で比較的高くなっています。

武豊町の生まれで実家がある、家族・親戚が近くに住んでいるといった家族・親族関係に関わる理由のほか、自家用車での通勤に便利、住宅が購入しやすいという点が選択の理由になっています。

令和3年度調査と比較すると、「実家があるから」は5.6ポイント、「仕事先や学校へ自家用車で通勤・通学するのに便利だったから」も3.4ポイント低下しています。一方、「住宅が購入しやすかったから」は3.1ポイント、「家族・親戚が近くに住んでいたから」が3.7ポイント、「子育て施策が充実していたから」は3.0ポイント高くなっていました。

図表 3-3-3 武豊町を選んだ理由(過去調査との比較) -複数回答(3つまで) -

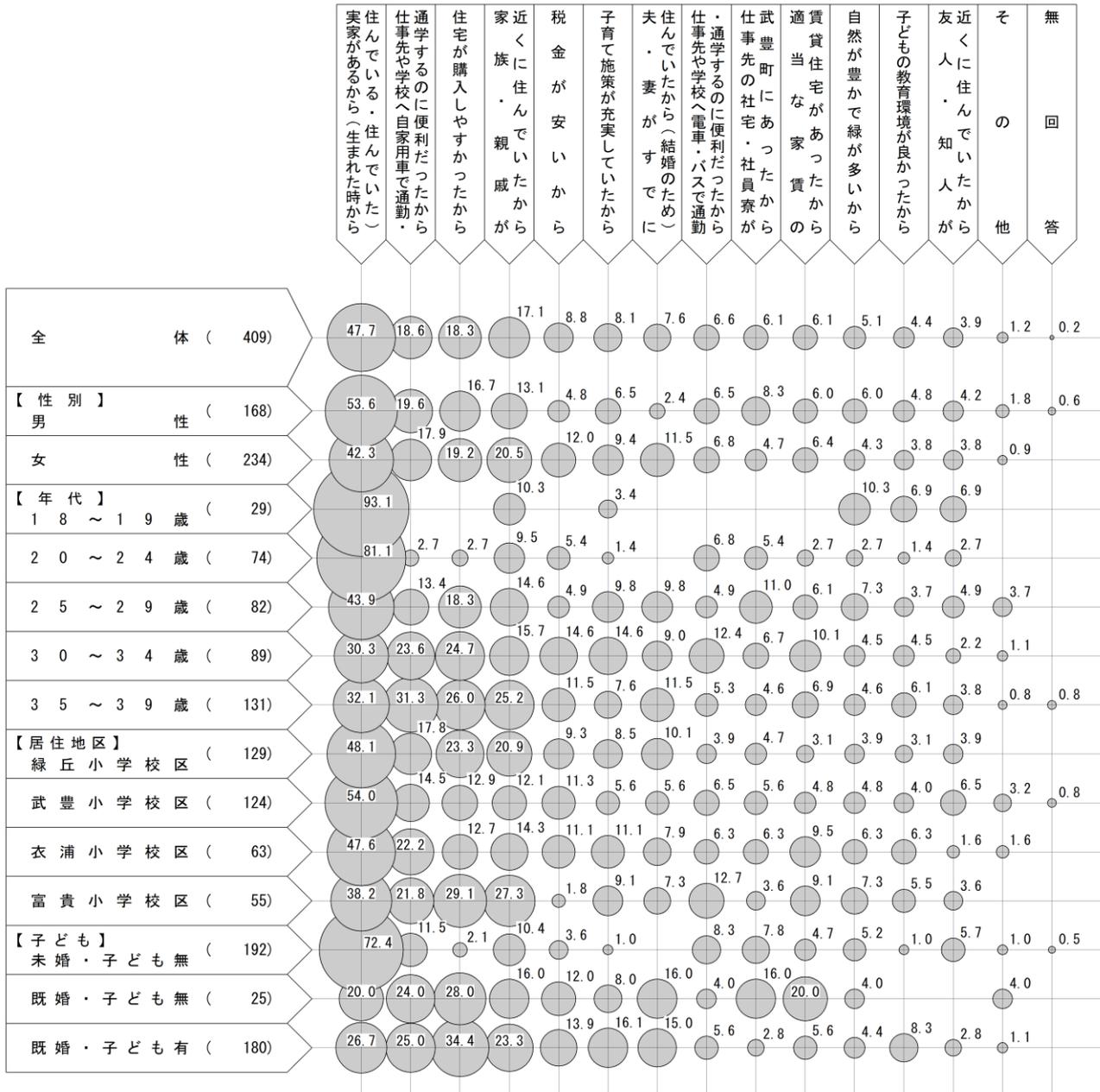


※前回調査より、新たに質問を設けて回答を求めた。

以下、回答者の属性別に、武豊町を選んだ理由の傾向をみていきます。

性別	<p>○「実家があるから」が男性は 53.6%で、女性は 42.3%で、男性の方が 11.3 ポイント高くなっています。</p> <p>○一方、「家族・親戚が近くに住んでいたから」は、男性が 13.1%に対して女性は 20.5%で、女性の方が 7.4 ポイント高くなっています。また、「夫・妻がすでに住んでいたから」も、男性が 2.4%に対して女性は 11.5%で、女性の方が 9.1 ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○18～19 歳、20～24 歳では、「実家があるから」がそれぞれ 93.1%、81.1%と非常に高くなっています。生まれたときから武豊町に住んでいる方が大半を占めているものと考えられます。</p> <p>○その他の年代になると、「実家があるから」は半数以下になり、「住宅が購入しやすかったから」や「仕事先や学校へ自家用車で通勤・通学するのに便利だったから」が 2～3 割程度を占めるようになっていきます。</p> <p>○35～39 歳は「家族・親戚が近くに住んでいたから」が 25.2%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○いずれの居住地区も「実家があるから」が最も高くなっています。</p> <p>○富貴小学校区では「住宅が購入しやすかったから」が 29.1%で、他の居住地区と比べると高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「実家があるから」が 72.4%で最も高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「住宅が購入しやすかったから」が 28.0%で最も高くなっています。また、「適当な家賃の賃貸住宅があったから」が 20.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有でも「住宅が購入しやすかったから」が 34.4%で最も高くなっています。また、「自家用車で通勤するのに便利だったから」が 25.0%、「家族・親戚が近くに住んでいたから」の 23.3%で、他の属性に比べて高くなっています。</p>

図表 3-3-4 属性別、武豊町を選んだ理由 -複数回答(3つまで) -



### (3) 今後の居住意向

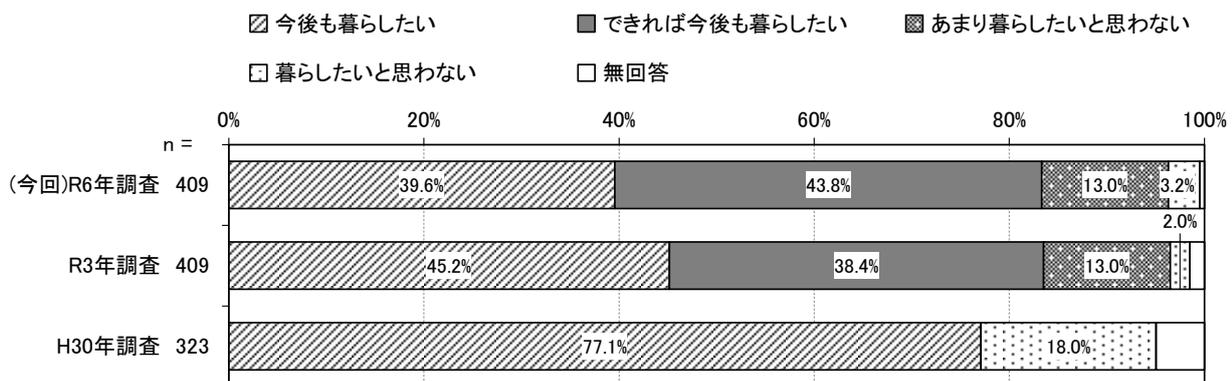
問4 今後も武豊町で暮らしたいと思えますか。(1つに○印)

「今後も暮らしたい」は39.6%、「できれば今後も暮らしたい」は43.8%で、両者をあわせた『今後も暮らしたい』は83.4%となっています。また、「暮らしたいと思わない」が3.2%、「あまり暮らしたいと思わない」が13.0%で、両者をあわせた『暮らしたいと思わない』は16.2%となっています。

令和3年調査では「今後も暮らしたい」が45.2%、「できれば今後も暮らしたい」が38.4%で、両者をあわせた『今後も暮らしたい』は83.6%でした。今回調査は令和3年調査に比べて0.2ポイント低くなっています。

なお、平成30年調査では、『今後も暮らしたい』と『暮らしたいと思わない』の2つの選択肢で今後の居住意向をたずねていましたが、『今後も暮らしたい』が77.1%であり、今回調査は平成30年調査と比べて6.3ポイント高くなっています。

図表 3-3-5 今後の居住意向（過去調査との比較）

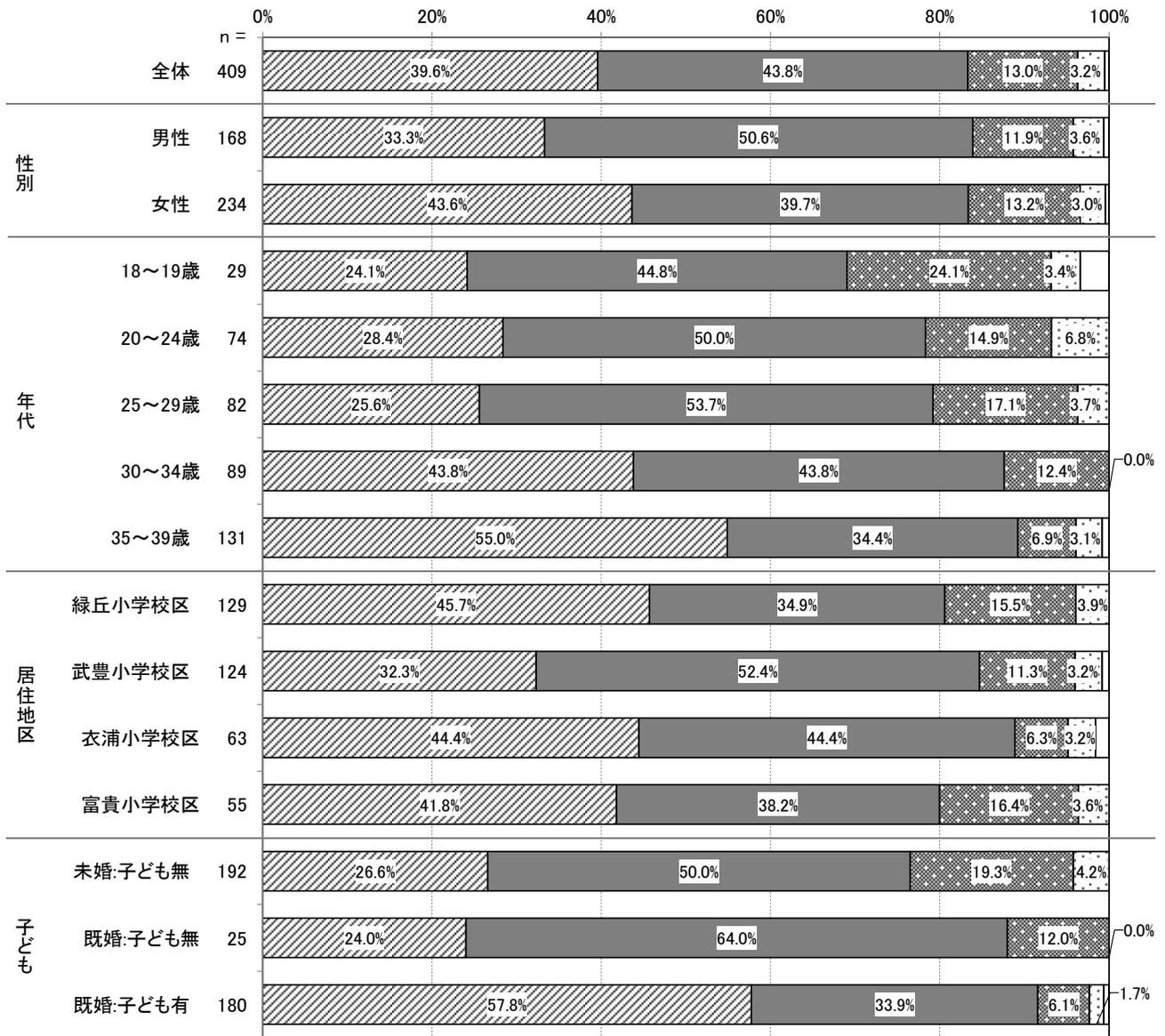


以下、回答者の属性別に、『今後も暮らしたい』の割合で傾向をみていきます。

性別	○男性は83.9%、女性は83.3%です。性別による顕著な差異はみられません。
年代	○『今後も暮らしたい』は、18～19歳で68.9%、20～24歳で78.4%、25～29歳で79.3%となっており、29歳までの若い世代では低くなっています。なお、この年代では、『暮らしたいと思わない』は18～19歳で27.5%、20～24歳で21.7%、25～29歳で20.8%となっており、いずれも高くなっています。 ○30～34歳、35～39歳では、『今後も暮らしたい』は順に87.6%、89.4%と年代が上がるにつれて高くなっています。
居住地区	○『今後も暮らしたい』は、衣浦小学校区が88.8%で、他の小学校区に比べて高くなっています。
結婚・子ども	○『今後も暮らしたい』は、未婚・子ども無では76.6%、既婚・子ども無では88.0%、既婚・子ども有では91.7%となっています。既婚・子ども有で居住意向が最も強く表れています。

図表 3-3-6 属性別、今後の居住意向

今後も暮らしたい     
  できれば今後も暮らしたい     
  あまり暮らしたいと思わない  
 暮らしたいと思わない     
  無回答



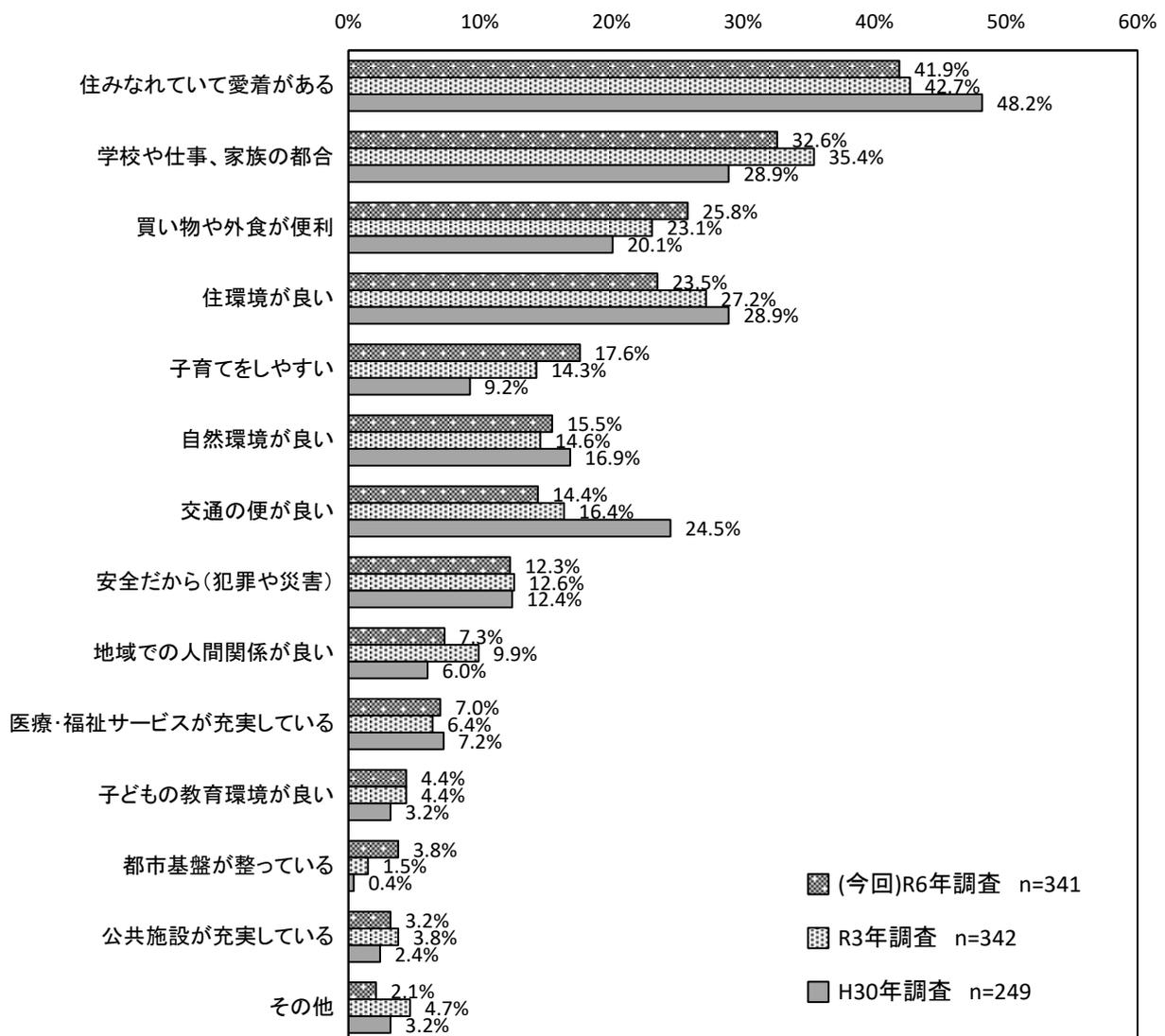
#### (4) 武豊町で暮らしたい理由

問4-1 武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか。(3つまでに○印)

「今後も暮らしたい」または「できれば今後も暮らしたい」と回答した341名を対象に、武豊町で暮らしたい理由をたずねたところ、「住みなれていて愛着がある」が41.9%で最も高く、次いで「学校や仕事、家族の都合」の32.6%、「買い物や外食が便利」の25.8%、「住環境が良い」の23.5%と続いています。

令和3年調査と比較すると、「住みなれていて愛着がある」が0.8ポイント、「学校や仕事、家族の都合」が2.8ポイントそれぞれ低くなっていますが、「買い物や外食が便利」は2.7ポイント、「子育てをしやすい」は3.3ポイント高くなっています。

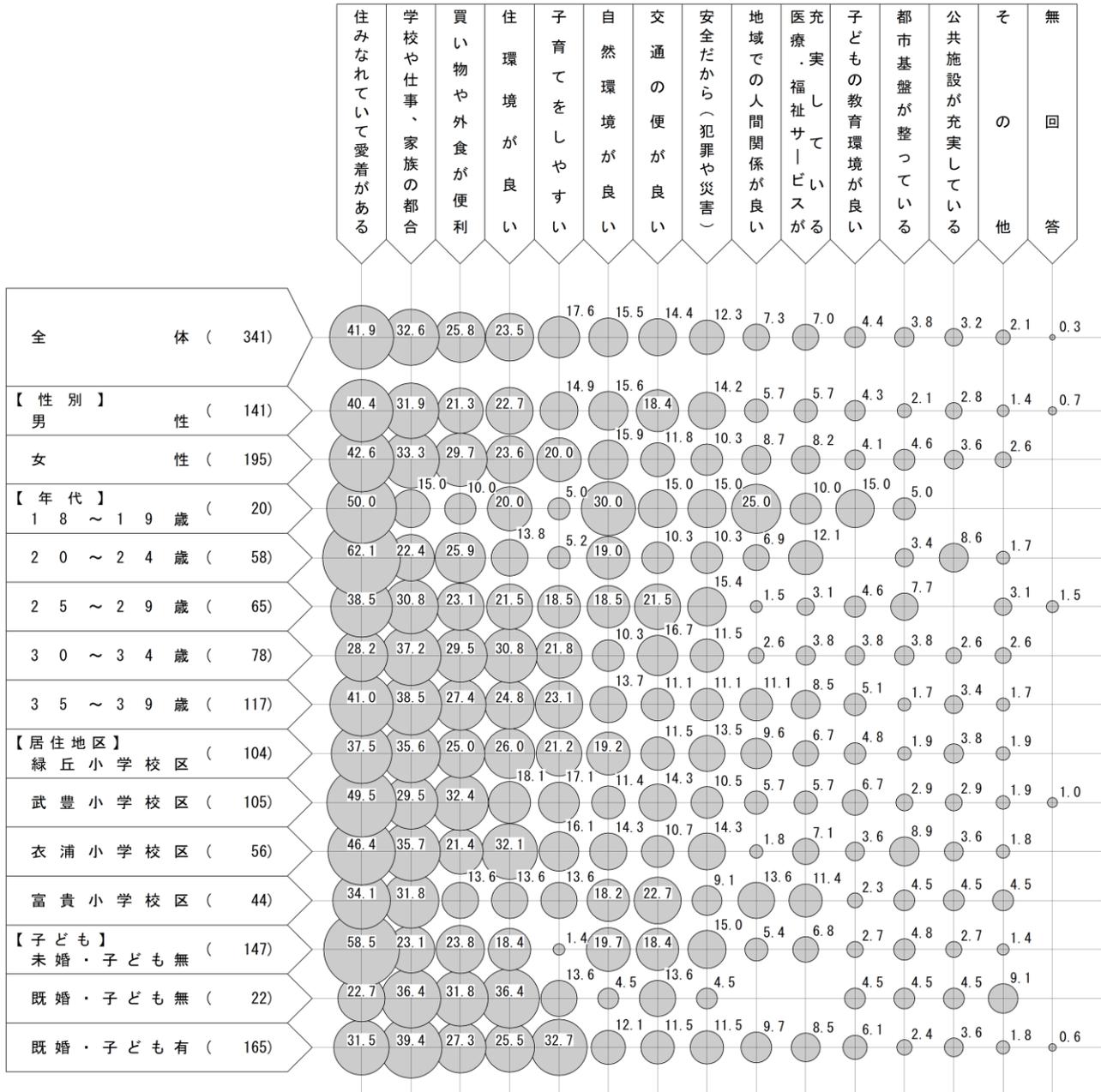
図表 3-3-7 武豊町で暮らしたい理由（過去調査との比較） -複数回答（3つまで）-



以下、回答者の属性別に、武豊町で暮らしたい理由の傾向をみていきます。

性別	<p>○「住みなれていて愛着がある」は男女とも最も高くなっていますが、男性では 40.4%、女性は 42.6%で、女性の方が 2.2 ポイント高くなっています。また、「交通の便が良い」では男性が 18.4%に対して女性が 11.8%と、男性の方が 6.6 ポイント高くなっています。</p> <p>○女性では「買い物や外食が便利」が 29.7%で、男性の 21.3%に比べて 8.4 ポイント高くなっています。また、「子育てをしやすい」が 20.0%で男性の 14.9%に比べて 5.1 ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○18～19 歳では、「住みなれていて愛着がある」が 50.0%で最も高くなっていますが、それに次いで高いのは、「自然環境がよい」の 30.0%、「地域での人間関係が良い」の 25.0%となっています。</p> <p>○20～24 歳では、「住みなれていて愛着がある」が 62.1%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34 歳になると、「住みなれていて愛着がある」に代わって「学校や仕事、家族の都合」が 37.2%と最も高くなり、また「住環境が良い」が 30.8%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○35～39 歳では、「子育てをしやすい」が 23.1%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○武豊小学校区では、「住み慣れて愛着がある」が 49.5%、「買い物や外食が便利」が 32.4%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区では、「住環境が良い」が 32.1%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「住みなれていて愛着がある」が 58.5%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「学校や仕事、家族の都合」と「住環境が良い」がそれぞれ 36.4%で最も高くなっており、「買い物や外食が便利」が 31.8%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では、「学校や仕事、家族の都合」が 39.4%で最も高くなっています。また、「子育てをしやすい」が 32.7%で、他の属性に比べて高くなっています。</p>

図表 3-3-8 属性別、武豊町で暮らしたい理由 -複数回答(3つまで)-



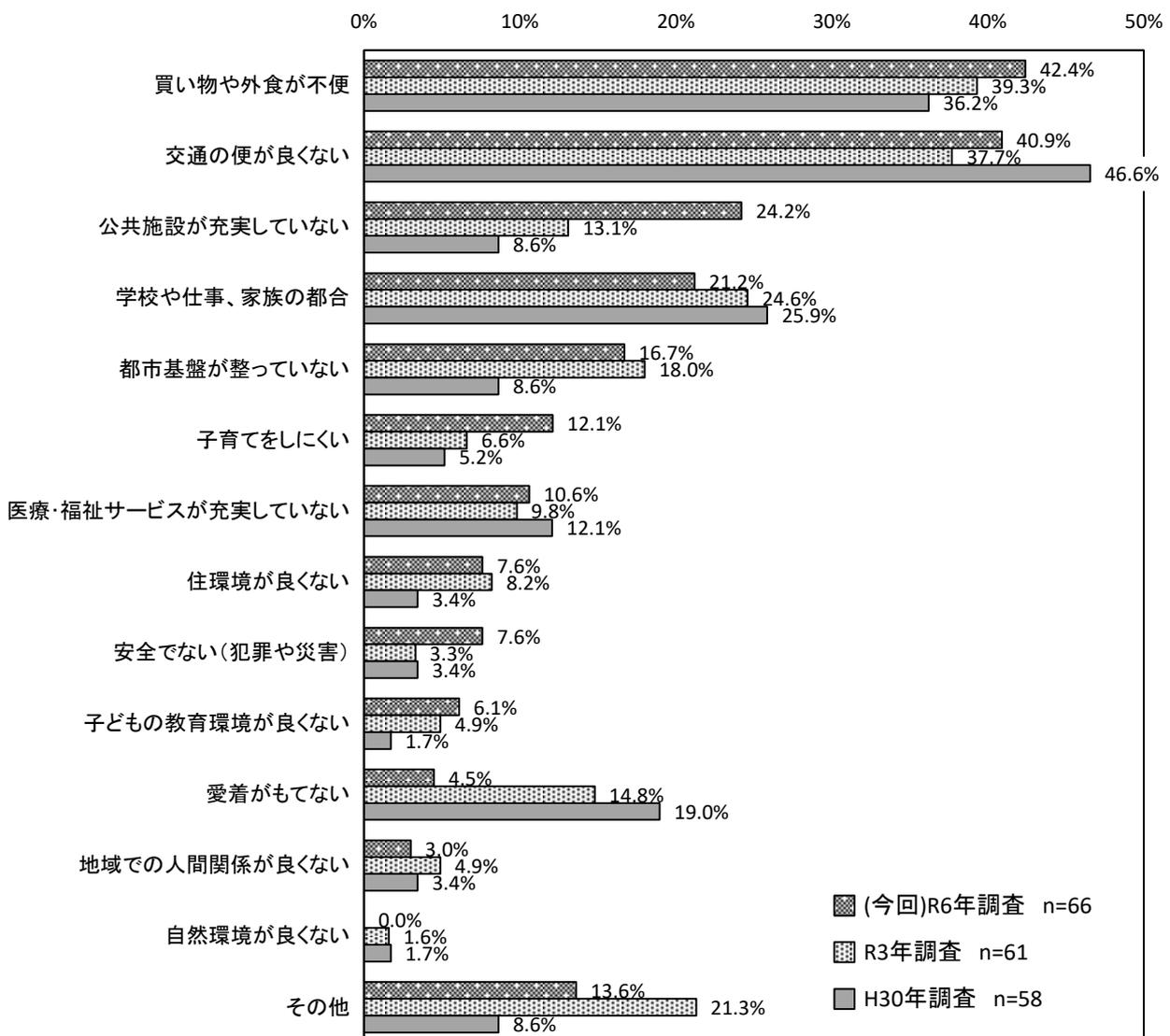
## (5) 武豊町で暮らしたいと思わない理由

問4-2 武豊町で暮らしたいと思わない理由は何ですか。(3つまでに○印)

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」と回答した 66 名を対象として、暮らしたくない理由をたずねたところ、「買い物や外食が不便」が 42.4%で最も高く、次いで、「交通の便が良くない」が 40.9%、「公共施設が充実していない」が 24.2%、「学校や仕事、家族の都合」が 21.2%と続いています。

令和3年調査と比較すると、「買い物や外食が不便」が 3.1 ポイント、「交通の便が良くない」が 3.2 ポイント、「公共施設が充実していない」が 11.1 ポイントそれぞれ高くなっていますが、「学校や仕事、家族の都合」は 3.4 ポイント低くなっています。

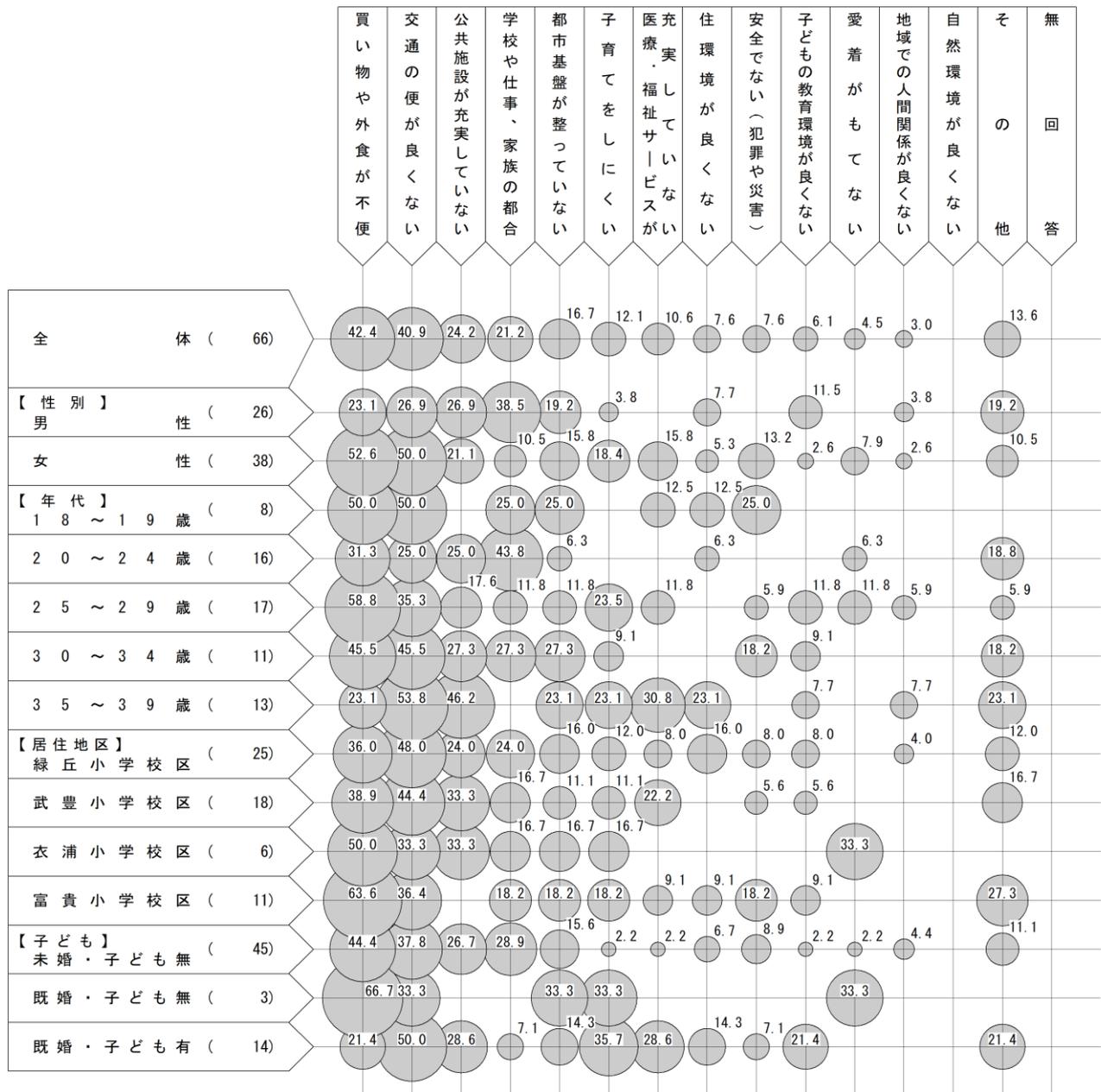
図表 3-3-9 暮らしたいと思わない理由（過去調査との比較） -複数回答（3つまで）-



以下、回答者の属性別に、暮らしたいと思わない理由をみていきます。

性別	<p>○男性では、「学校や仕事、家庭の都合」が 38.5%で最も高く、女性の 10.5%を 28.0 ポイント上回っています。</p> <p>○女性では、「買い物や外食が不便」が 52.6%と高く、男性の 23.1%より 29.5 ポイントも高くなっています。また、「交通の便が良くない」も 50.0%と高く、男性の 26.9%より 23.1 ポイント高くなっています。このほか、「子育てをしにくい」が 18.4%で、男性の 3.8%より 14.6 ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○20～24 歳では、「学校や仕事、家族の都合」が 43.8%で最も高くなっています。</p> <p>○25～29 歳では、「買い物や外食が不便」が 58.8%で最も高くなっています。</p> <p>○35～39 歳では、「交通の便が良くない」が 53.8%で最も高くなっています。また、「公共施設が充実していない」が 46.2%、「医療・福祉サービスが充実していない」が 30.8%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校区、武豊小学校区では、ともに「交通の便が良くない」が最も高くなっています。また、緑丘小学校区では「学校や仕事、家族の都合」が 24.0%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p> <p>○富貴小学校区では、「買い物や外食が不便」が 63.6%で最も高く、また、「安全でない（犯罪や災害）」が 18.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「学校や仕事、家庭の都合」が 28.9%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では「交通の便が良くない」が 50.0%で最も高く、また、「子育てをしにくい」が 35.7%で、他の属性に比べて高くなっています。</p>

図表 3-3-10 属性別、暮らしたいとは思わない理由 -複数回答（3つまで）-



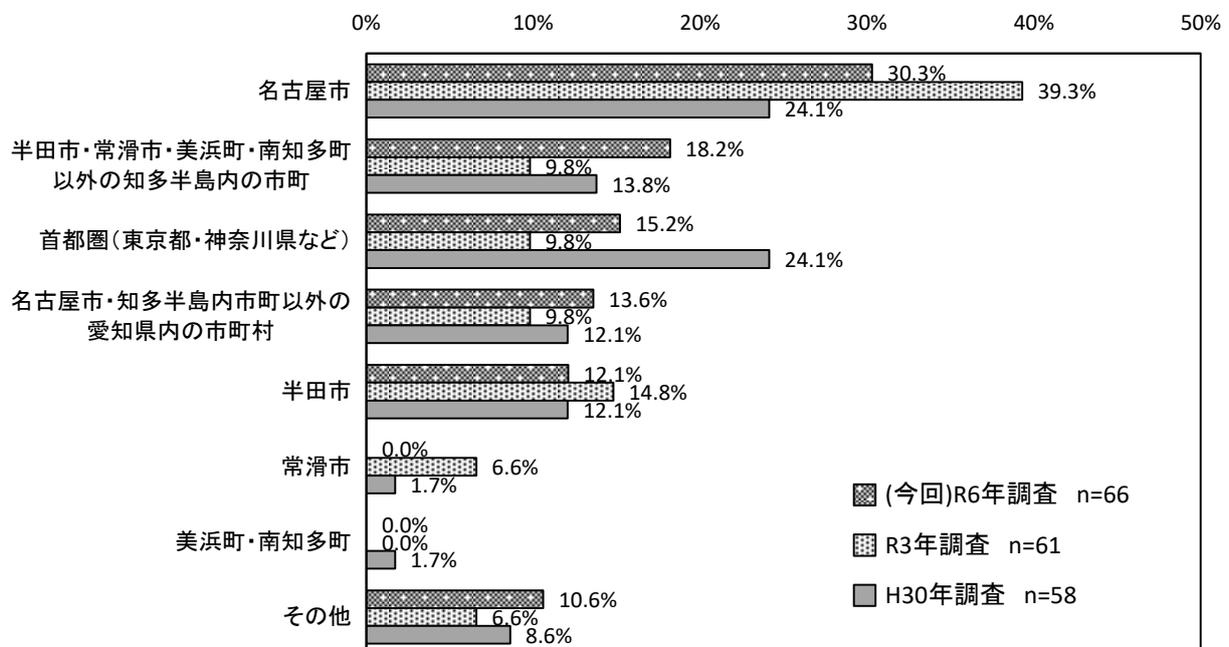
## (6) 武豊町以外で暮らしたい地域

問4-3 武豊町以外で暮らす場合、どの地域で暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

「暮らしたいと思わない」または「あまり暮らしたいと思わない」と回答した 66 名を対象として、武豊町以外で暮らしたい地域をたずねたところ、「名古屋市」が最も高く 30.3%となっています。このほかは、「半田市・常滑市・美浜町・南知多町以外の知多半島内の市町（以下、知多地域）」が 18.2%、「首都圏（東京都・神奈川県など）」が 15.2%、「名古屋市・知多半島内市町以外の愛知県内の市町村」が 13.6%、「半田市」が 12.1%、「その他」が 10.6%で、「常滑市」や「美浜町・南知多町」は 0.0%となっています。

令和3年調査と比較すると、「名古屋市」は 9.0 ポイント、「半田市」は 2.7 ポイント低下しており、一方、「知多地域」は 8.4 ポイント、「首都圏（東京都・神奈川県など）」は 5.4 ポイント、「名古屋市・知多半島内市町以外の愛知県内の市町村」は 3.8 ポイント高くなっています。

図表 3-3-11 武豊町以外で暮らしたい地域（過去調査との比較）



## (7) 暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと

問5 武豊町を暮らしやすい町とするために、どのような環境整備に力を入れるべきだと思いますか。(3つまでに○印)

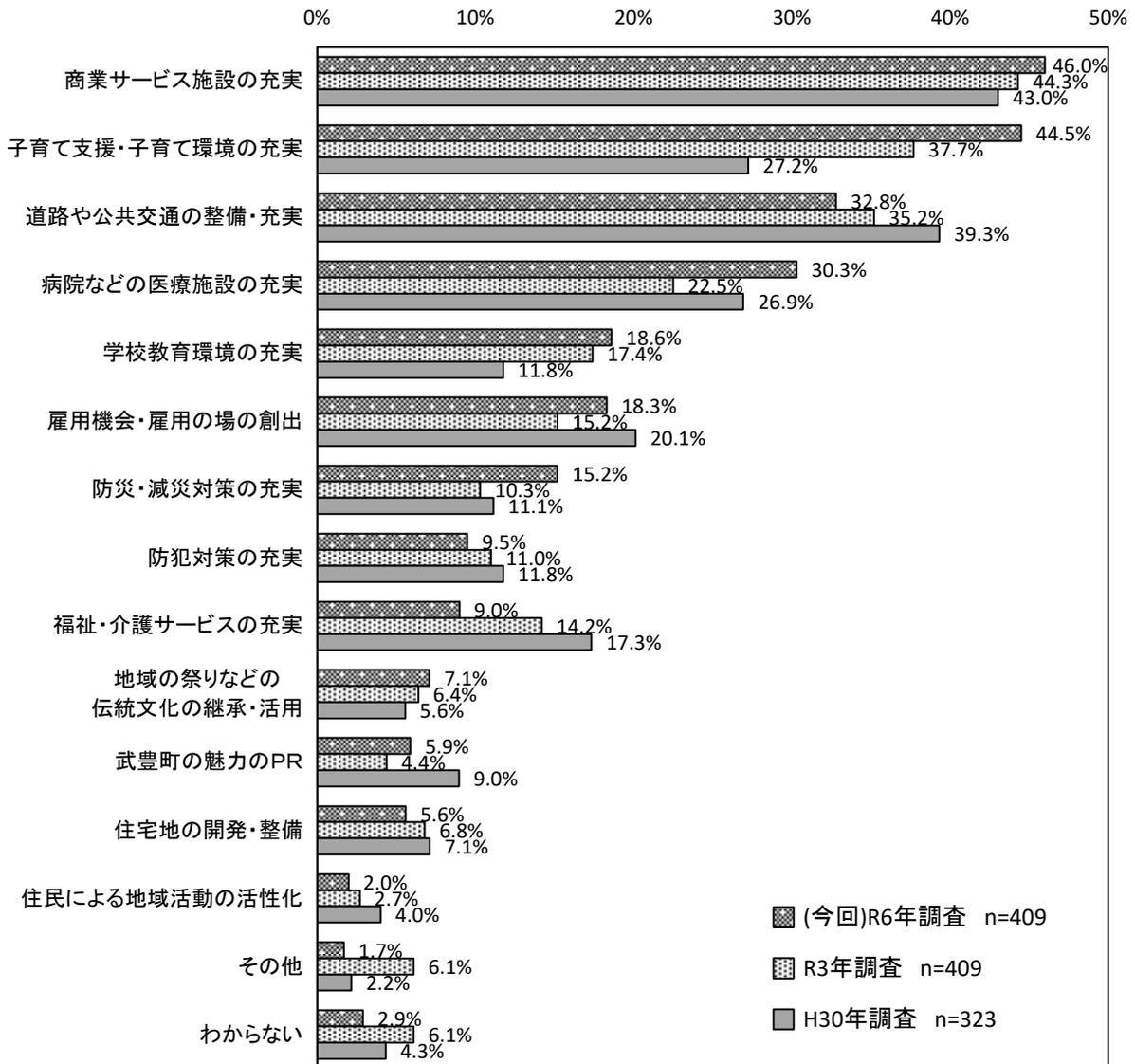
暮らしやすい町にするために力を入れるべきこととしては、「商業サービス施設の充実」が46.0%で最も高くなっています。次いで「子育て支援・子育て環境の充実」が44.5%、「道路や公共交通の整備・充実」が32.8%、「病院などの医療施設の充実」が30.3%と続いています。

令和3年調査と比較すると、「商業サービス施設の充実」が1.7ポイント、「子育て支援・子育て環境の充実」が6.8ポイント、「病院などの医療施設の充実」が7.8ポイント高くなっています。

一方で、「道路や公共交通の整備・充実」は2.4ポイント、「防犯対策の充実」は1.5ポイント、「福祉・介護サービスの充実」は5.2ポイント低くなっています。

図表 3-3-12 暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと

(過去調査との比較) -複数回答(3つまで) -

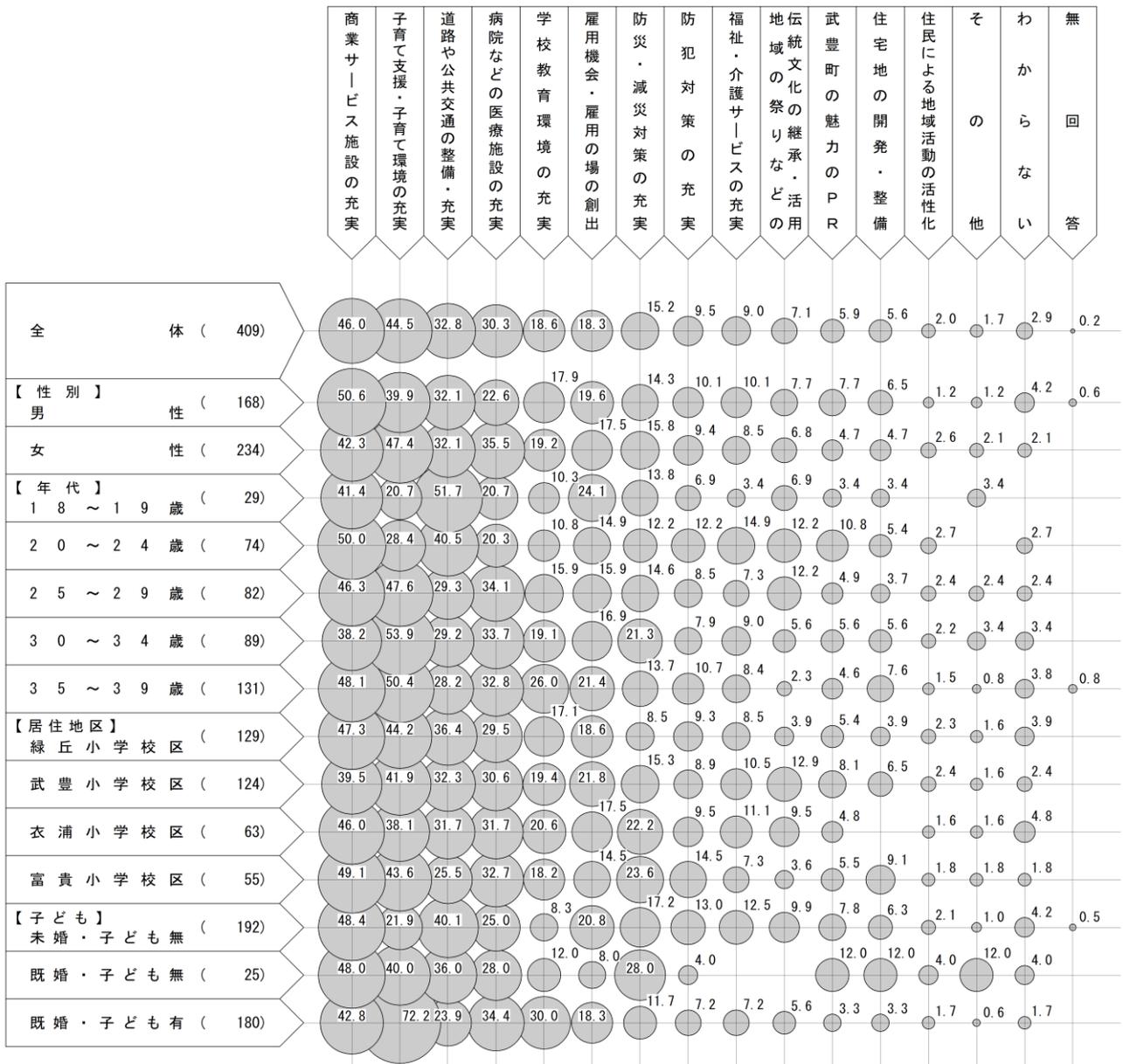


以下、回答者の属性別に、暮らしやすい町にするために力を入れるべきことをみていきます。

性別	<p>○男性では、「商業サービス施設の充実」が 50.6%で最も高く、女性の 42.3%を 8.3 ポイント上回っています。</p> <p>○女性では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 47.4%で最も高く、男性の 39.9%を 7.5 ポイント上回っています。また、「病院などの医療施設の充実」が 35.5%で、男性の 22.6%を 12.9 ポイント上回っています。</p>
年代	<p>○18～19 歳では、「道路や公共交通の整備・充実」が 51.7%で最も高く、次いで「商業サービス施設の充実」の 41.4%となっています。また、「雇用機会・雇用の場の創出」が 24.1%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○20～24 歳では、「商業サービス施設の充実」が 50.0%で最も高くなっています。</p> <p>○25～29 歳では、「病院などの医療施設の充実」が 34.1%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34 歳では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 53.9%と最も高くなっています。また、「防災・減災対策の充実」が 21.3%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○35～39 歳では、「学校教育環境の充実」が 26.0%で、他の年代に比べて高くなっています。また「雇用機会・雇用の場の創出」が 21.4%でやや高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 44.2%、「道路や公共交通の整備・充実」が 36.4%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p> <p>○武豊小学校区では、「雇用機会・雇用の場の創出」が 21.8%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p> <p>○富貴小学校区では「商業サービス施設の充実」が 49.1%で最も高く、また他の小学校区に比べても高くなっています。また、「病院などの医療施設の充実」が 32.7%、「防災・減災対策の充実」が 23.6%で、これも他の小学校区に比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「商業サービス施設の充実」が 48.4%で最も高く、他の属性に比べても高くなっています。また、「道路や公共交通の整備・充実」が 40.1%、「雇用機会・雇用の場の創出」が 20.8%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「防災・減災対策の充実」が 28.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では、「子育て支援・子育て環境の充実」が 72.2%で最も高く、また他の属性と比べても高くなっています。また、「病院などの医療施設の充実」が 34.4%、「学校教育環境の充実」が 30.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p>

図表 3-3-13 属性別、暮らしやすい町にするために力を入れるべきこと

-複数回答(3つまで)-



### 3-4 武豊町の魅力づくり

#### (1) 武豊町への愛着や親しみ

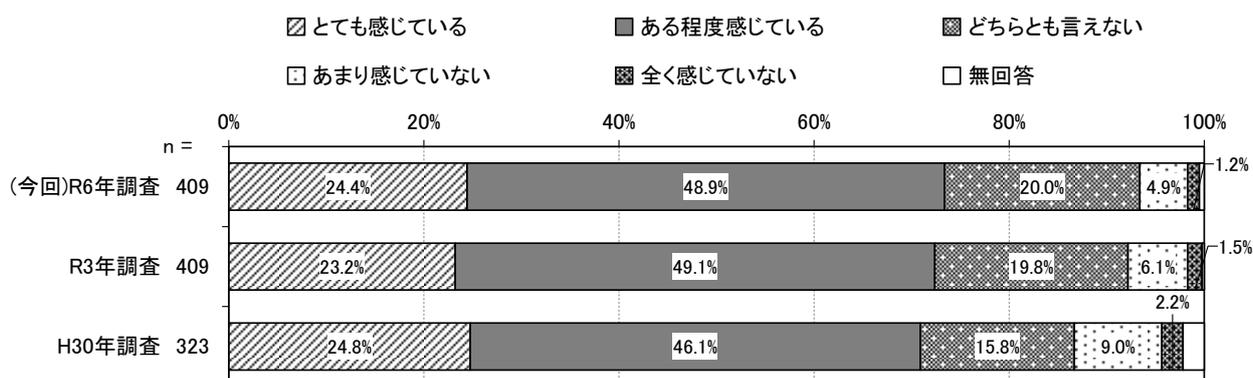
問6 あなたは、武豊町に愛着や親しみを感じていますか。(1つに○印)

武豊町への愛着や親しみについては、「とても感じている」が24.4%、「ある程度感じている」が48.9%となっています。この両者をあわせた『愛着や親しみを感じている』は73.3%となります。「どちらとも言えない」は20.0%、「あまり感じていない」は4.9%、「全く感じていない」は1.2%となっています。

令和3年調査と比較すると、「とても感じている」は23.2%から1.2ポイント上昇しています。「ある程度感じている」は49.1%から0.2ポイント低下しています。両者をあわせた『愛着や親しみを感じている』は1.0ポイントの上昇となっています。

また、「あまり感じていない」は1.2ポイント、「全く感じていない」は0.3ポイント低下しています。

図表 3-4-1 武豊町への愛着や親しみ（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に、武豊町への愛着や親しみをみていきます。

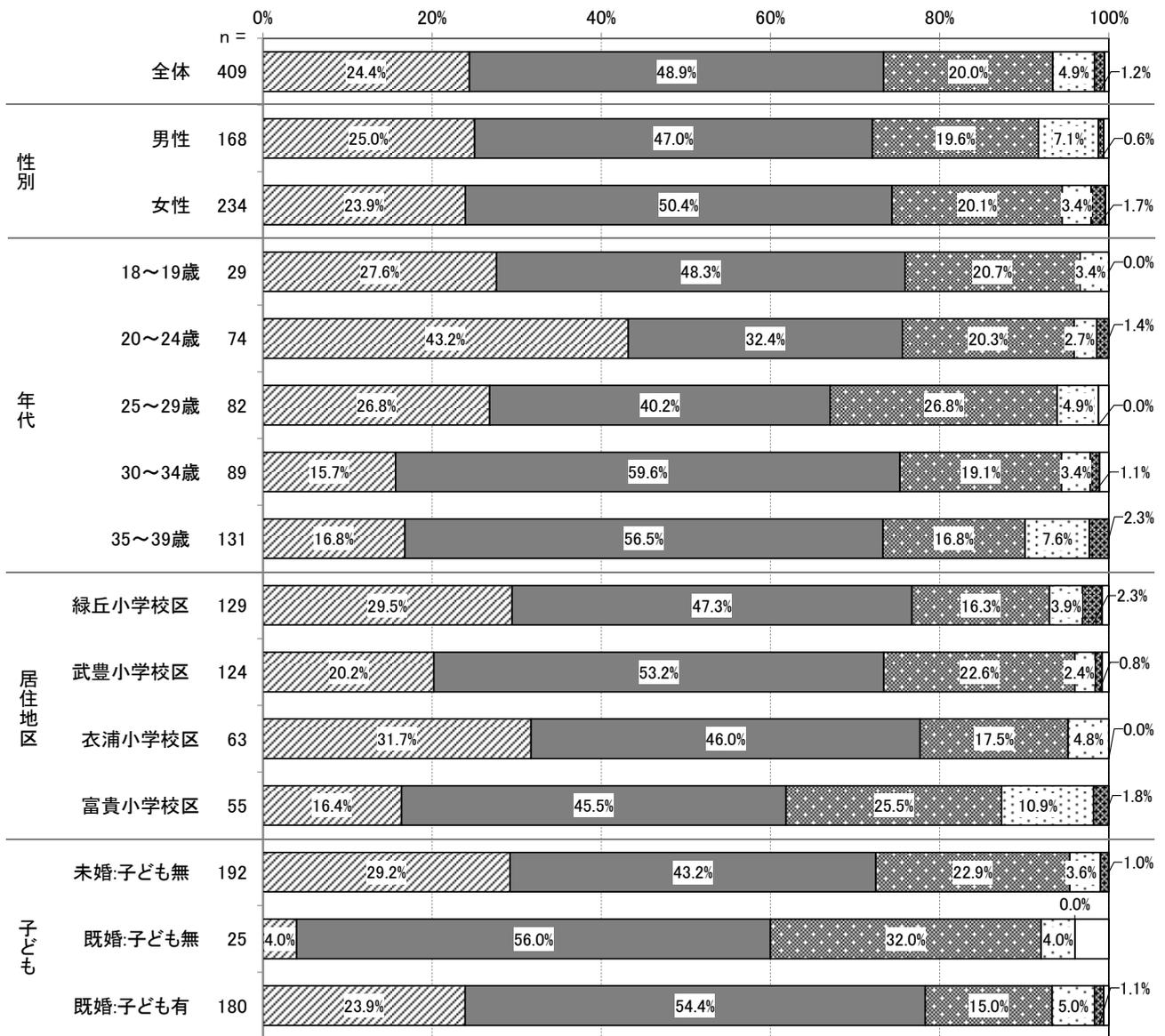
性別	○「とても感じている」と「ある程度感じている」をあわせた『愛着や親しみを感じている』割合は、男性が72.0%、女性が74.3%で、女性の方が2.3ポイント高くなっています。
年代	○『愛着や親しみを感じている』の割合は、18～19歳が75.9%で最も高く、次いで20～24歳の75.6%、30～34歳の75.3%、35～39歳の73.3%、25～29歳の67.0%の順になっています。 ○「とても感じている」は、20～24歳が43.2%で、他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	○『愛着や親しみを感じている』の割合は、衣浦小学校区が77.7%で最も高く、次いで緑丘小学校区の76.8%、武豊小学校区の73.4%、富貴小学校区の61.9%の順になっています。 ○衣浦小学校区では「とても感じている」が31.7%と、他地区と比べて高くなっています。

結婚・  
子ども

○『愛着や親しみを感じている』割合は、既婚・子ども有が78.3%で最も高く、次いで未婚・子ども無が72.4%、既婚・子ども無が60.0%となっています。  
○既婚・子ども無では「とても感じている」が4.0%と、他地区と比べて低くなっています。

図表 3-4-2 属性別、武豊町への愛着や親しみ

□ とても感じている      ■ ある程度感じている      ▨ どちらとも言えない  
 □ あまり感じていない      ■ 全く感じていない      □ 無回答



## (2) 参加したい活動

問7 武豊町を住みやすい、魅力あるまちにするために、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

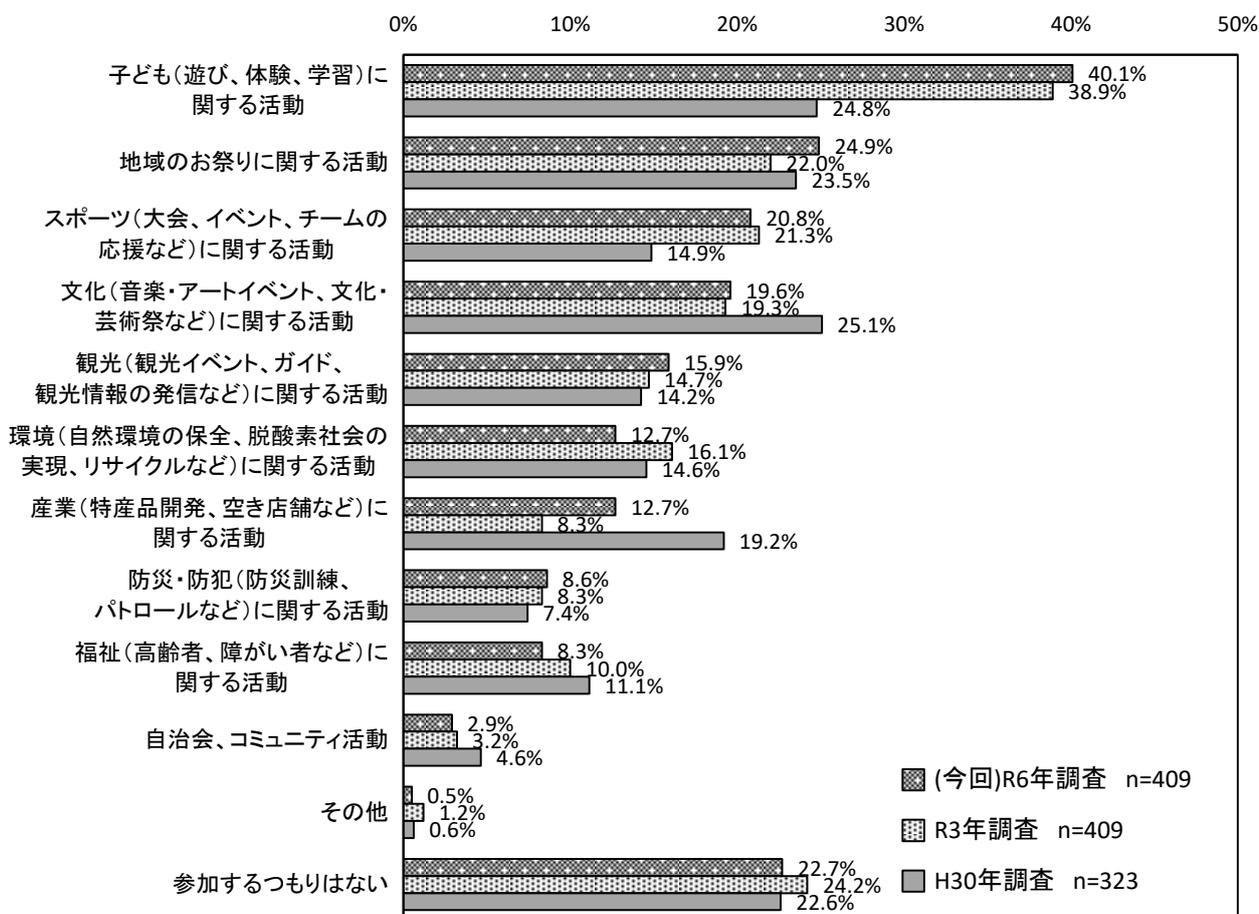
武豊町を住みやすい、魅力あるまちにするために参加してみたい活動については、「子ども(遊び、体験、学習)に関する活動」が40.1%で最も高くなっています。次いで、「地域のお祭りに関する活動」が24.9%、「スポーツ(大会、イベント、チームの応援など)に関する活動」が20.8%、「文化(音楽・アートイベント、文化・芸術祭など)に関する活動」が19.6%と続いています。一方、「自治会、コミュニティ活動」は2.9%と非常に少なくなっています。また、「参加するつもりはない」が22.7%となっています。

令和3年調査と比較すると、「産業(特産品開発、空き店舗など)に関する活動」は4.4ポイント、「地域のお祭りに関する活動」は2.9ポイント高くなっています。

一方、「環境(自然環境の保全、脱炭素社会の実現、リサイクルなど)に関する活動」は3.4ポイント、「福祉(高齢者、障がい者など)に関する活動」は1.7ポイント低下しています。

なお、「参加するつもりはない」は令和3年調査では24.2%でしたが、今回は22.7%に低下しています。

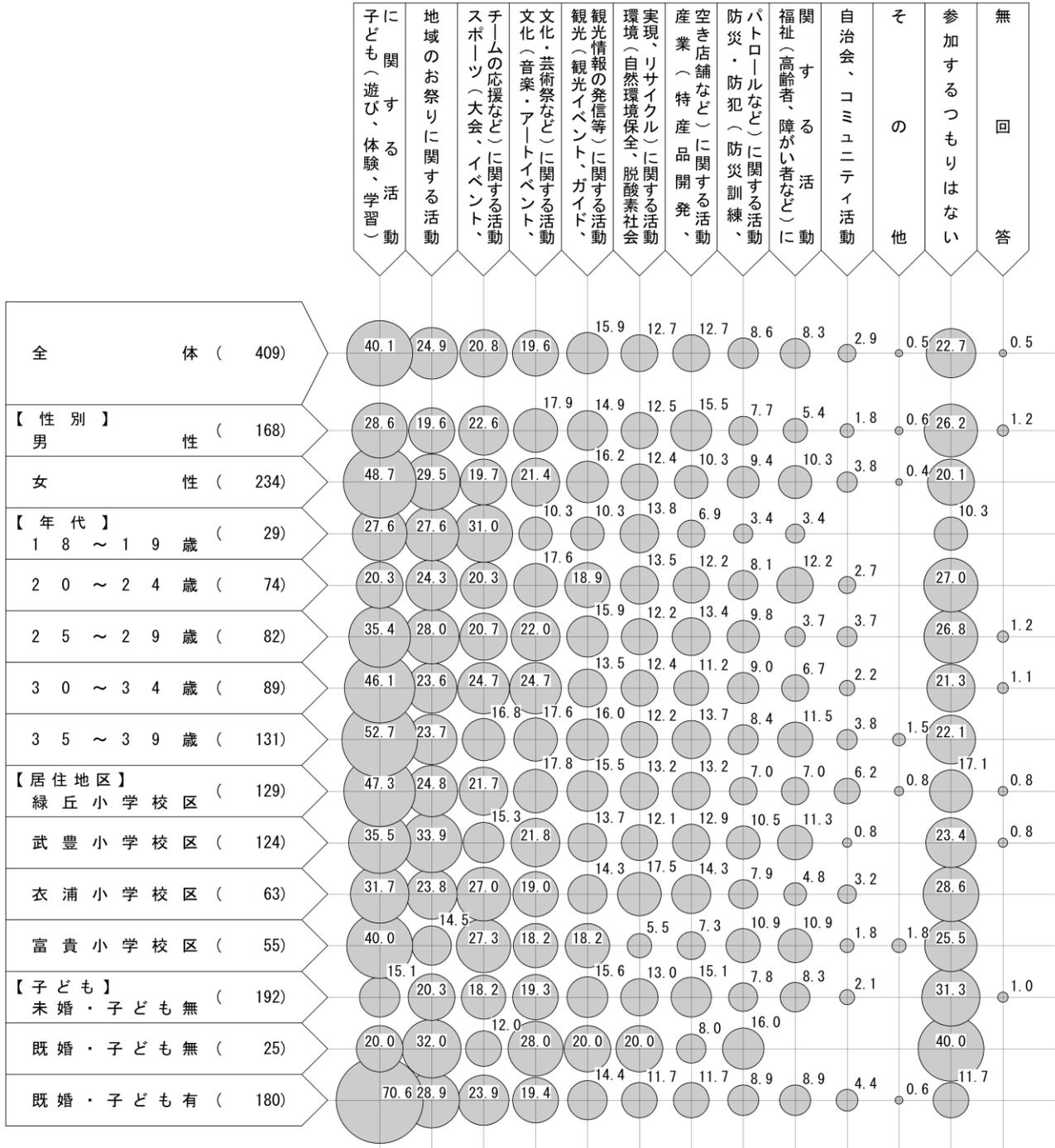
図表 3-4-3 参加してみたい活動(過去調査との比較) -複数回答(該当するものすべて)-



以下、回答者の属性別に、参加してみたい活動をみていきます。

性別	<p>○男性では、「子どもに関する活動」が 28.6%で最も高くなっていますが、女性では 48.7%で最も高く、男性に比べて 20.1 ポイント高くなっています。</p> <p>○また、女性では、「地域のお祭りに関する活動」が 29.5%で、男性の 19.6%に比べて 9.9 ポイント高くなっています。</p> <p>○「参加するつもりはない」は男性が 26.2%、女性が 20.1%で、男性の方が 6.1 ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○18～19 歳では、「スポーツに関する活動」が 31.0%で最も高く、また他の年代に比べても高くなっています。</p> <p>○20～24 歳では「参加するつもりはない」が 27.0%で最も高く、また他の年代に比べても高くなっています。また、「観光に関する活動」が 18.9%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○25～29 歳では、「地域のお祭りに関する活動」が 28.0%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34 歳、35～39 歳と年代が上がるにつれて、「子どもに関する活動」は高くなっており、35～39 歳では 52.7%になっています。</p> <p>○30～34 歳では、「スポーツに関する活動」と「文化に関する活動」がともに 24.7%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○どの小学校区でも「子どもに関する活動」が最も高くなっていますが、緑丘小学校区では 47.3%と半数近くを占めています。</p> <p>○武豊小学校区では「地域のお祭りに関する活動」が 33.9%、「文化に関する活動」が 21.8%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区では、「環境に関する活動」が 17.5%、「産業に関する活動」が 14.3%で、他の小学校区に比べ高くなっています。</p> <p>○富貴小学校区では、「スポーツに関する活動」が 27.3%、「観光に関する活動」が 18.2%で、他の小学校区に比べ高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○未婚・子ども無では、「参加するつもりはない」が 31.3%で最も高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無でも、「参加するつもりはない」が 40.0%で最も高くなっています。また、「文化に関する活動」が 28.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では、「子どもに関する活動」が 70.6%と高い割合を示しています。</p>

図表 3-4-4 属性別、参加したい活動 -複数回答 (該当するものすべて) -



### 3-5 子ども・子育てについて

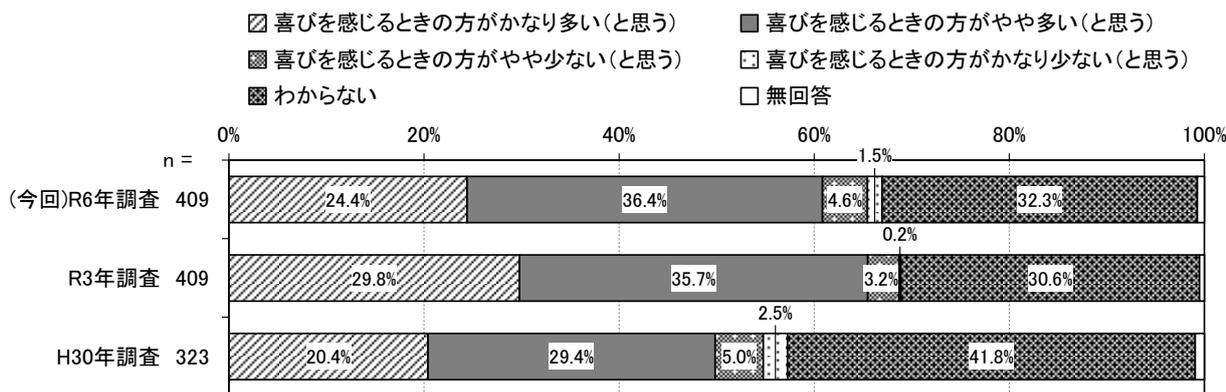
#### (1) 子育てのイメージ

問8 あなたは、「子育て」をどのように感じますか。(1つに○印)

子育てについて「喜びを感じる時の方がかなり多い(と思う)」が24.4%、「喜びを感じる時の方がやや多い(と思う)」が36.4%で、この両者をあわせた『喜びを感じる時の方が多い』は60.8%となっています。「喜びを感じる時の方がやや少ない(と思う)」は4.6%、「喜びを感じる時の方がかなり少ない(と思う)」は1.5%となっています。また、「わからない」が32.3%となっています。

令和3年調査では、「喜びを感じる時の方がかなり多い」が29.8%、「喜びを感じる時の方がやや多い」が35.7%で、この両者をあわせた『喜びを感じる時の方が多い』は65.5%でした。令和3年との比較では4.7ポイント低くなっています。

図表 3-5-1 子育てのイメージ (過去調査との比較)

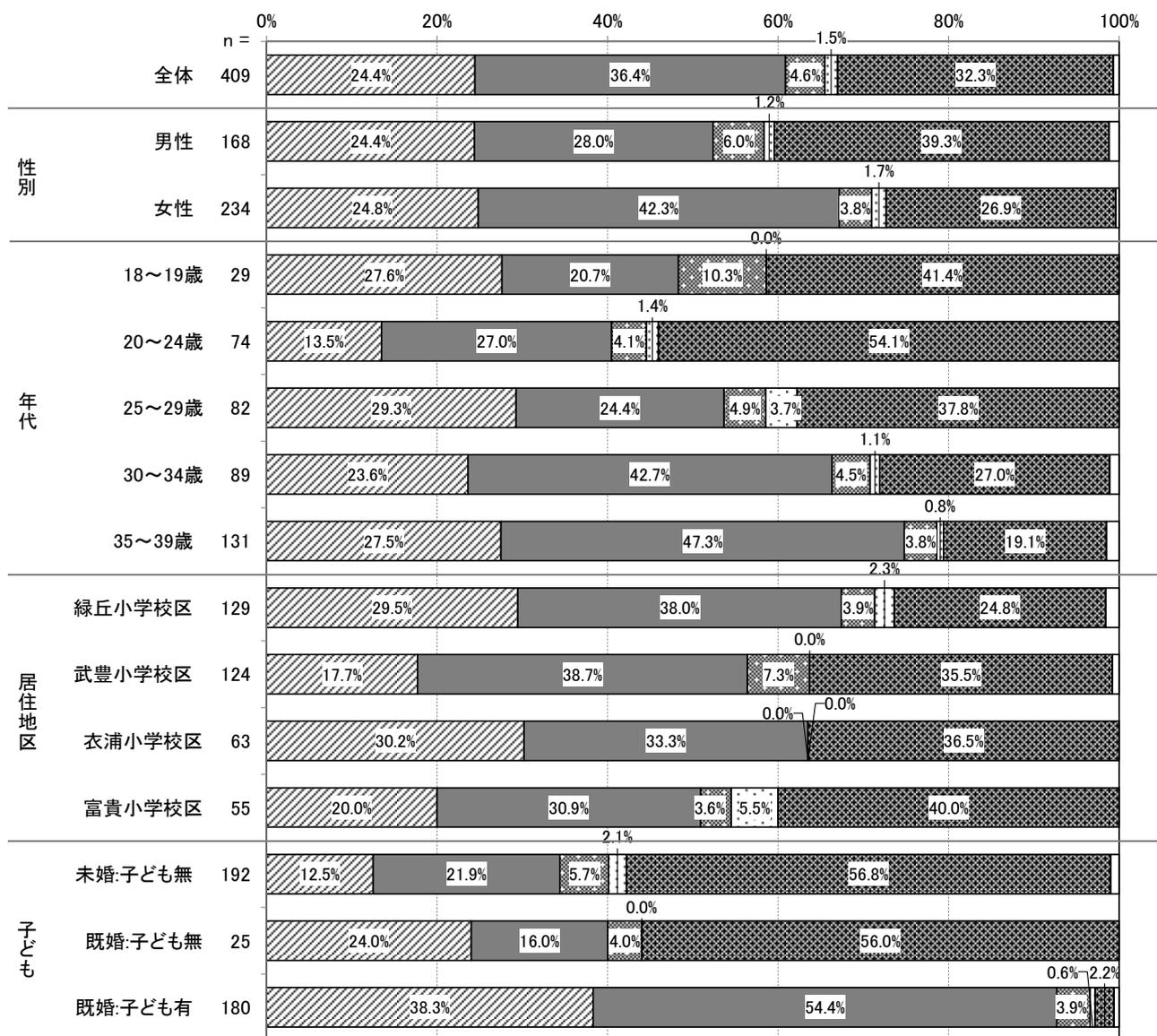


以下、回答者の属性別に、子育てのイメージをみていきます。

性別	○『喜びを感じる時の方が多い』の割合は男性が 52.4%、女性が 67.1%で、女性の方が 14.7 ポイント高くなっています。また、男性では「わからない」が 39.3%と高く、女性の 26.9%と比較して 12.4 ポイント高くなっています。
年代	○『喜びを感じる時の方が多い』は、18～19 歳を除き、年代が高くなるにつれて高くなる傾向があり、35～39 歳では 74.8%と高くなっています。 ○20～24 歳では「喜びを感じる時の方がかなり多い（と思う）」が 13.5%で、他の年代に比べて低くなっています。また、「わからない」が 54.1%で、他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	○『喜びを感じる時の方が多い』は、緑丘小学校が 67.5%で高く、次いで衣浦小学校区が 63.5%で高くなっています。 ○富貴小学校区では、『喜びを感じる時の方が多い』が 50.9%で、他の小学校区に比べて低くなっています。 ○武豊小学校区では「喜びを感じる時の方がかなり多い（と思う）」が 17.7%で、他の小学校区に比べて低くなっています。
結婚・子ども	○既婚・子ども有では、「喜びを感じる時の方がかなり多い（と思う）」が 38.3%で、他の属性に比べて高く、また『喜びを感じる時の方が多い』は 92.7%と、9割以上を占め、結婚し、子どもがいることで喜びを感じている人が多くなっています。 ○未婚・子ども無では『喜びを感じる時の方が多い』が 34.4%で、他の属性に比べて低くなっています。

図表 3-5-2 属性別、子育てのイメージ

- ▨ 喜びを感じる時の方がかなり多い(と思う)
- 喜びを感じる時の方がやや多い(と思う)
- ▩ 喜びを感じる時の方がやや少ない(と思う)
- 喜びを感じる時の方がかなり少ない(と思う)
- わからない
- 無回答



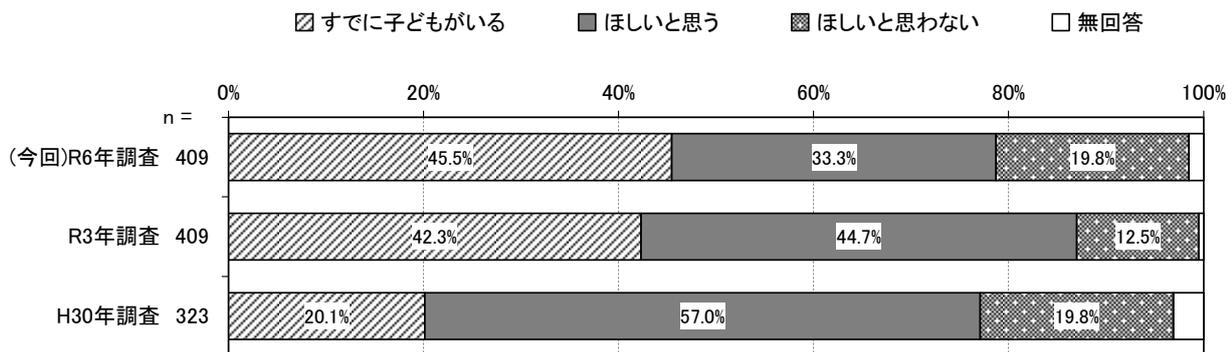
## (2) 子どもがほしいか

問9 あなたは、子どもがほしいですか。(1つに○印)

子どもがほしいですかとの問いに対して、「すでに子どもがいる」が45.5%、「ほしいと思う」が33.3%、「ほしくないと思わない」は19.8%で、すでに子どもがいる人が多くなっています。

令和3年調査では、「すでに子どもがいる」は42.3%、「ほしいと思う」が44.7%、「ほしくないと思わない」は12.5%でしたが、今回は令和3年調査に比べて「すでに子どもがいる」が3.2ポイント高くなり、「ほしくないと思わない」も7.3ポイント高くなっています。

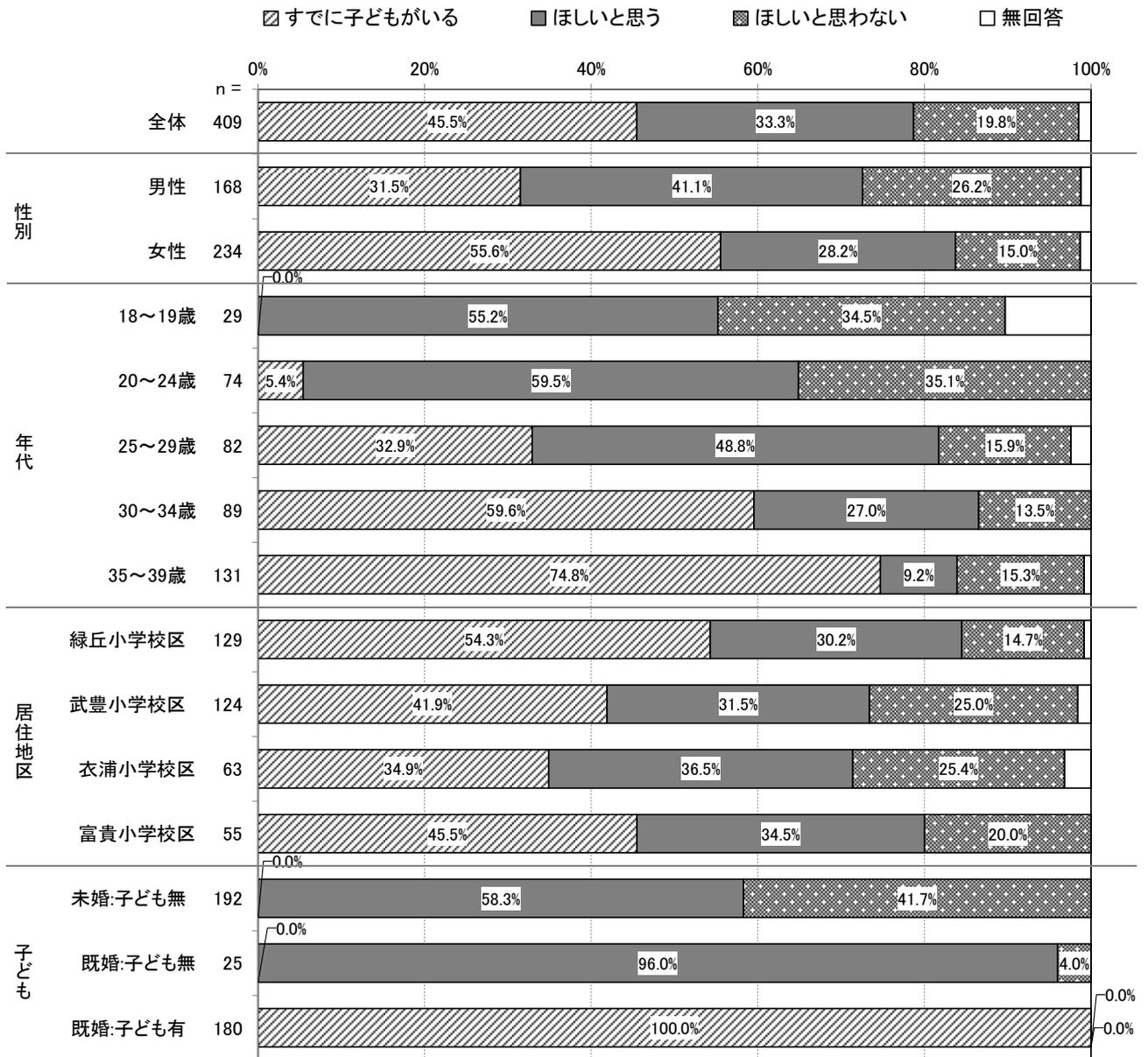
図表 3-5-3 子どもがほしいか（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に、子どもがほしいかについてみていきます。

性別	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「すでに子どもがいる」は、男性は31.5%、女性は55.6%で、女性の方が24.1ポイント高くなっています。</li> <li>○「ほしいと思う」は男性が41.1%、女性が28.2%ですが、「すでに子どもがいる」と「ほしいと思う」をあわせた割合では、男性が72.6%、女性が83.8%で、女性の方が11.2ポイント高くなっています。</li> <li>○「ほしくないと思わない」は男性が26.2%、女性が15.0%で、男性の方が11.2ポイント高くなっています。</li> </ul>
年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年代が上がるにつれて「すでに子どもがいる」の割合が高くなっており、30～34歳では59.6%、35～39歳では74.8%となっています。</li> <li>○「ほしくないと思わない」は20～24歳で35.1%、18～19歳で34.5%と、他の年代に比べて高くなっています。</li> </ul>
居住地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緑丘小学校区では「すでに子どもがいる」が54.3%で、他の小学校区に比べて高くなっています。また、「すでに子どもがいる」と「ほしいと思う」をあわせた割合も緑丘小学校区が84.5%で最も高くなっています。</li> </ul>
結婚・子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未婚・子ども無、既婚・子ども無では、「ほしいと思う」がそれぞれ58.3%、96.0%となっています。</li> </ul>

図表 3-5-4 属性別、子どもがほしいか



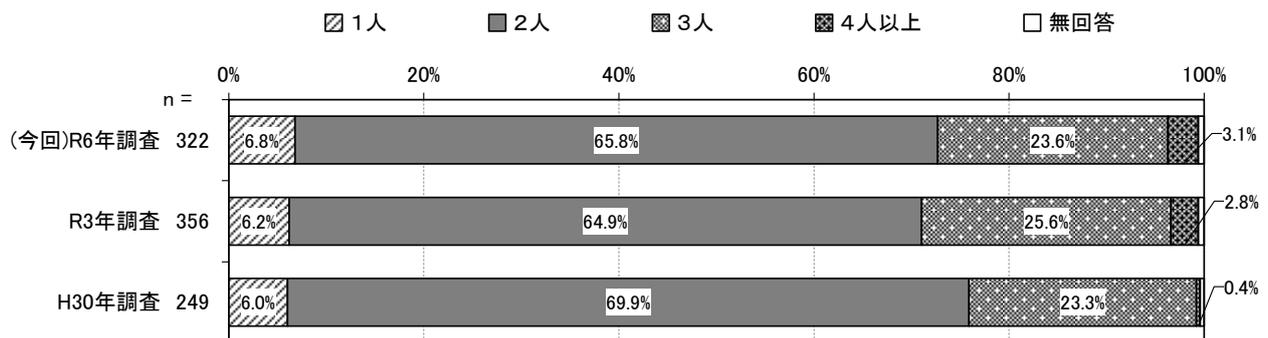
### (3) 理想の子どもの人数

問10 「理想の子どもの人数」は何人ですか。(1つに○印)

前問で「すでに子どもがいる」または「ほしいと思う」と回答した322名を対象に、理想の子どもの人数をたずねたところ、「2人」が65.8%で最も高くなっています。次いで「3人」が23.6%、「1人」が6.8%、「4人以上」が3.1%となっています。

令和3年調査と比較すると、「2人」が0.9ポイント高くなり、逆に「3人」が2.0ポイント低くなっています。

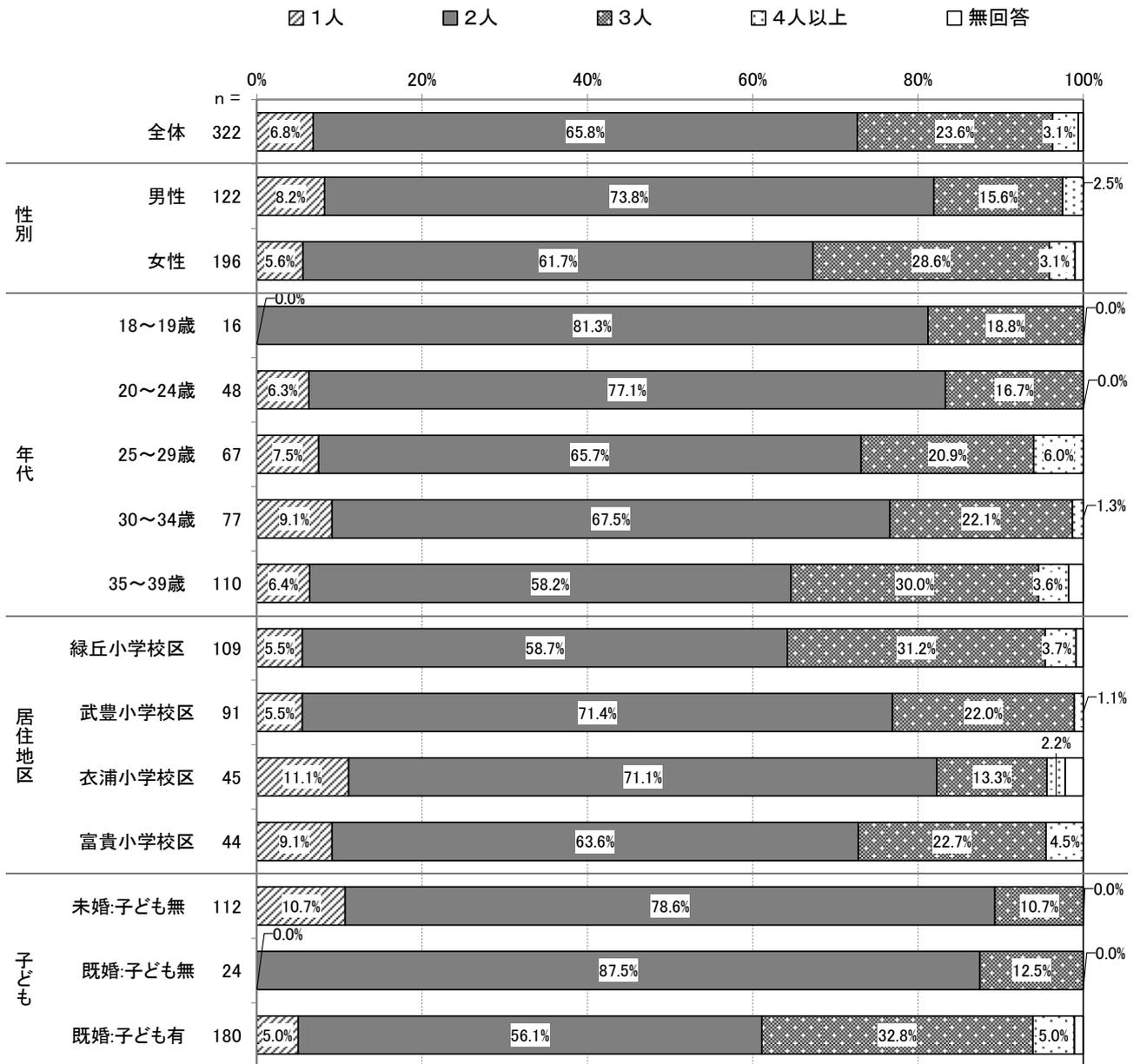
図表 3-5-5 理想の子どもの人数（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に、理想の子どもの人数をみていきます。

性別	○「3人」は男性が15.6%、女性が28.6%であり、女性の方が「3人」を理想の子どもの数と考える割合が高くなっています。
年代	○いずれの年代でも、「2人」が最も高く、特に18～19歳では81.3%となっています。 ○25～29歳では「4人以上」が6.0%で、他の年代に比べて高くなっています。 ○30～34歳、35～39歳では、「3人」がそれぞれ22.1%、30.0%と、他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	○緑丘小学校区では、「3人」が31.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。 ○武豊小学校区では、「2人」が71.4%で、他の小学校区に比べて高くなっています。 ○衣浦小学校区では、「1人」が11.1%で、他の小学校区に比べて高くなっています。
結婚・子ども	○未婚・子ども無では、「1人」が10.7%で、他の属性に比べて高くなっています。 ○既婚・子ども無では、「2人」が87.5%となっており、他の属性に比べて高くなっています。 ○既婚・子ども有では、「3人」が32.8%、「4人以上」が5.0%で、他の属性に比べて高くなっています。

図表 3-5-6 属性別、理想の子どもの人数



#### (4) 現在の子どもの人数

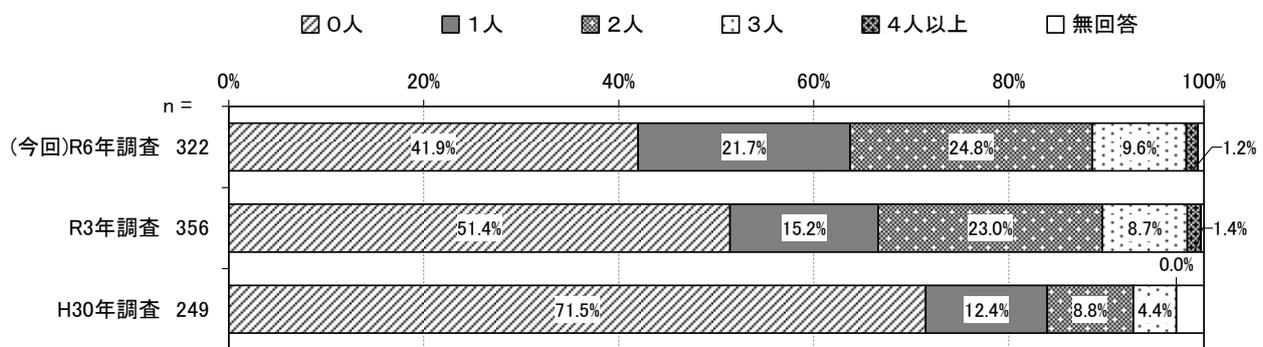
問11 「現在」の子どもの人数は何人ですか。また何歳ですか。(1つに○印)

問9で「すでに子どもがいる」または「ほしいと思う」と回答した322名を対象に、現在の子どもの人数をたずねたところ、「0人」が41.9%で最も高くなっています。次いで「2人」が24.8%、「1人」が21.7%、「3人」が9.6%、「4人以上」が1.2%となっています。

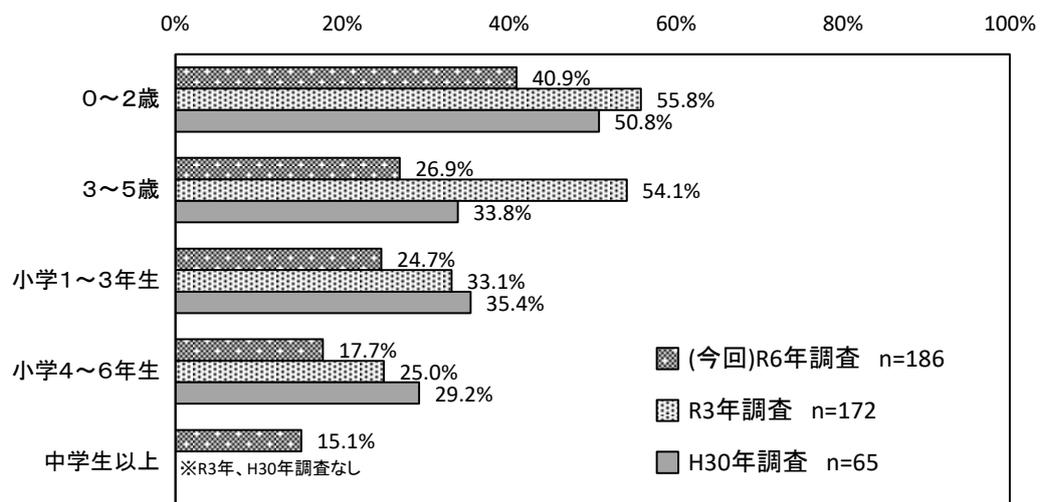
令和3年調査と比較すると、「0人」は9.5ポイント低くなっており、「1人」が6.5ポイント、「2人」が1.8ポイント、「3人」が0.9ポイント高くなっています。

また、現在、「子どもがいる」と回答した186名の方の子どもの年齢については、「0～2歳」が40.9%、「3～5歳」が26.9%、「小学1～3年生」が24.7%、「小学4～6年生」が17.7%、「中学生以上」が15.1%となっています。

図表 3-5-7 現在の子どもの人数（過去調査との比較）



図表 3-5-8 現在の子どもの年齢（過去調査との比較） -複数回答（該当するものすべて）-

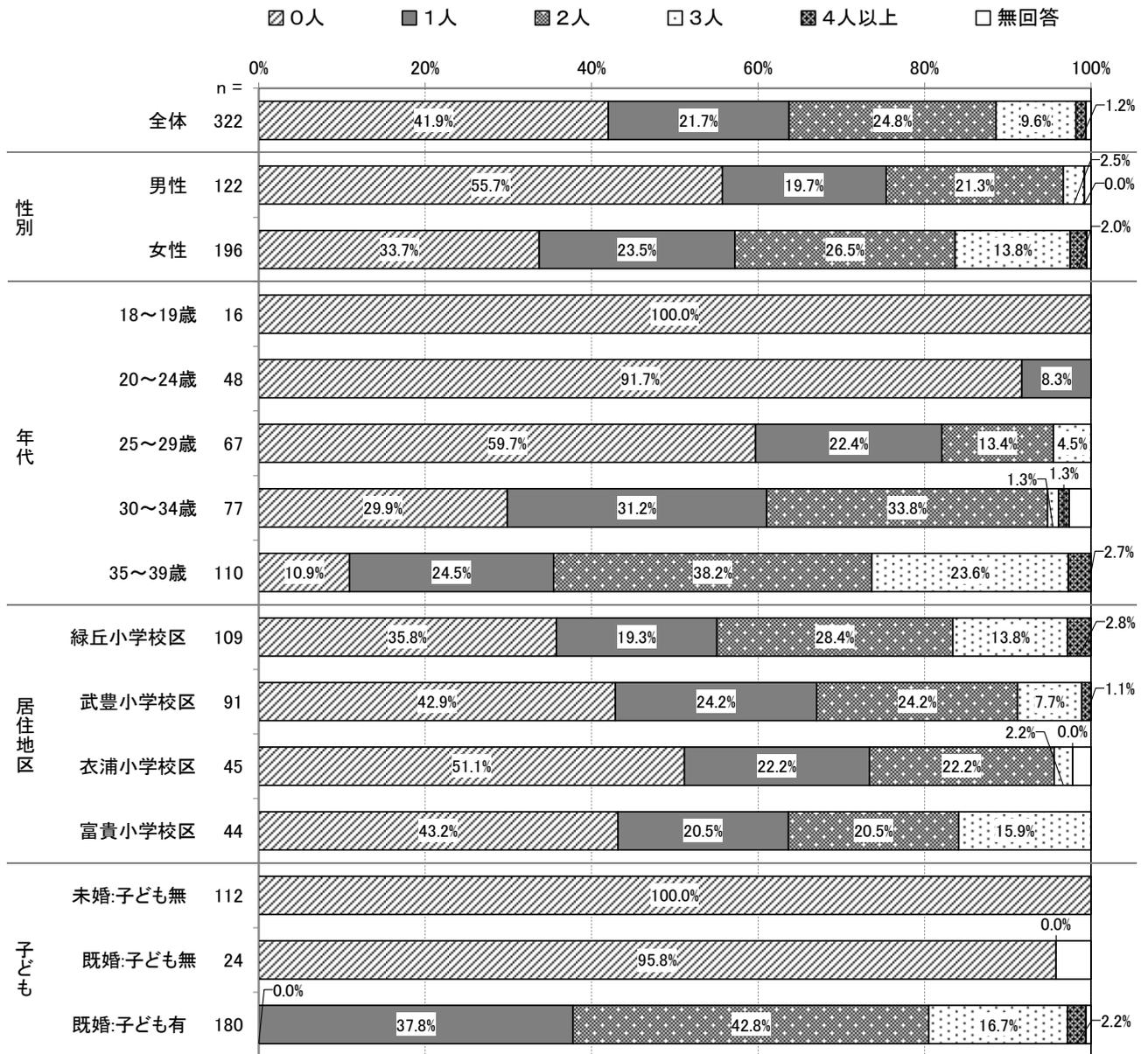


※今年度調査より、新たに選択肢「中学生以上」を設けて回答を求めた。

以下、回答者の属性別に現在の子どもの人数をみていきます。

性別	○「0人」は男性が55.7%、女性が33.7%で、男性の方が22.0ポイント高くなっています。逆に、「1人」、「2人」、「3人」は女性の方が高くなっています。
年代	○年代が高くなるにつれて「0人」の割合が低くなり、35～39歳になると「0人」は10.9%まで低下しています。 ○35～39歳では、「1人」は24.5%、「2人」は38.2%、「3人」は23.6%、「4人以上」は2.7%で、現在の子どもの数は「2人」が最も高くなっています。
居住地区	○緑丘小学校区では「2人」は28.4%で、他の小学校区に比べても高くなっています。 ○衣浦小学校区では、「0人」が51.1%で最も高く、他の小学校区に比べても高くなっています。 ○武豊小学校区では「1人」が24.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。 ○富貴小学校区では、「3人」が15.9%で、他の小学校区に比べて高くなっています。
結婚・子ども	○既婚・子ども有でみたとき、「1人」が37.8%、「2人」が42.8%、「3人」が16.7%で、「4人以上」が2.2%となっています。

図表 3-5-9 属性別、現在の子どもの人数



## (5) 理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由

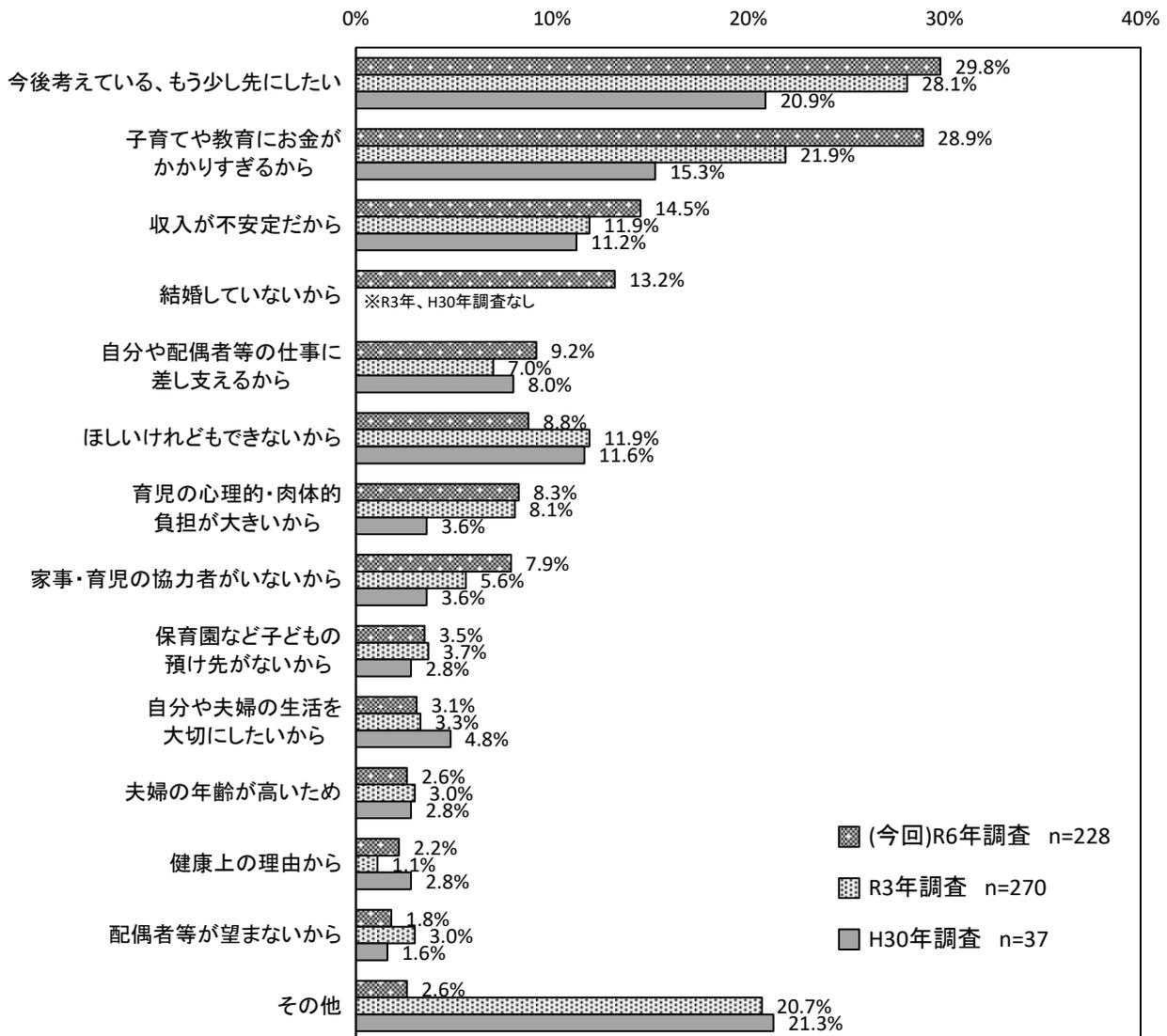
問12 現在のお子さんの数が、理想とする数より少ないのは、どのような理由からですか。  
(3つまでに○印)

問11の現在の子どもの人数が問10の理想の子どもの人数よりも少ないと回答した228名を対象に、子どもの数が理想とする数より少ない理由をたずねたところ、「今後考えている、もう少し先にしたい」が最も高く29.8%となっています。次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が28.9%、「収入が不安定だから」が14.5%、「結婚していないから」が13.2%と続いています。

令和3年調査と比較すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は7.0ポイント、「収入が不安定だから」が2.6ポイント高くなっています。一方、「ほしいけれどもできないから」は3.1ポイント低下しています。

図表 3-5-10 理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由

(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)-



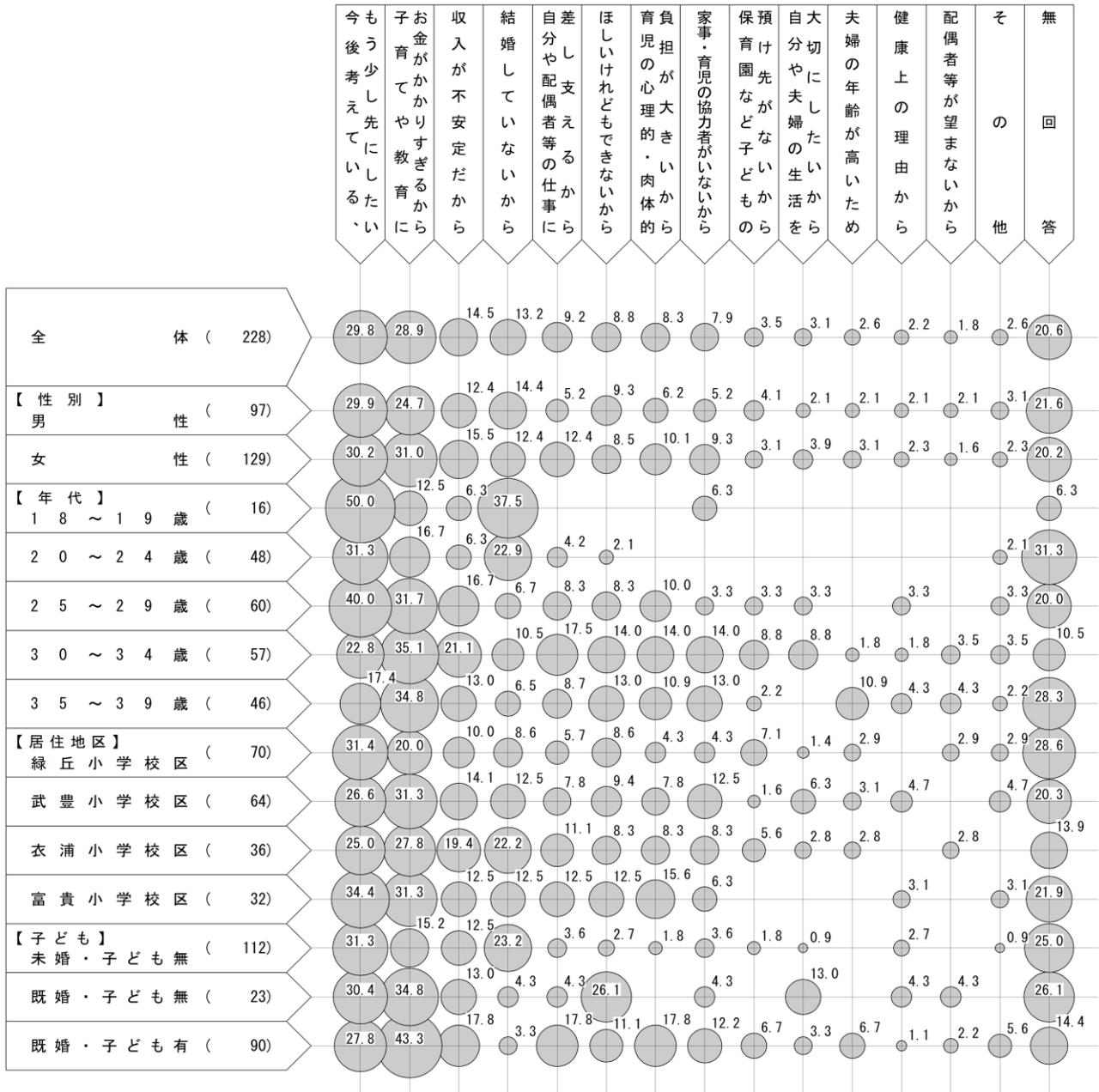
※今回調査より、新たに選択肢「結婚していない」を設けている。

以下、回答者の属性別に、理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由をみていきます。

性別	○男女とも「今後考えている、もう少し先にしたい」と「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が高くなっていますが、いずれも女性の方が高くなっています。
年代	○18～19歳では「今後考えている、もう少し先にしたい」が50.0%で最も高く、また、「結婚していないから」が37.5%で、他の年代に比べて高くなっています。 ○30～34歳、35～39歳では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がそれぞれ35.1%、34.8%と高く、また30～34歳では「収入が不安定だから」が21.1%で、他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	○富貴小学校区では「今後考えている、もう少し先にしたい」が34.4%で、他の小学校区に比べて高くなっています。 ○武豊小学校区と富貴小学校区では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がともに31.3%で、他の小学校区に比べて高くなっています。 ○衣浦小学校区では、「結婚していないから」が22.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。
結婚・子ども	○未婚・子ども無では、「今後考えている、もう少し先にしたい」が31.3%、「結婚していないから」が23.2%で、他の属性に比べて高くなっています。 ○既婚・子ども無では「ほしいけれどもできないから」が26.1%で、他の属性に比べて高くなっています。 ○既婚・子ども有では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が43.3%、「収入が不安定だから」と「自分や配偶者等の仕事に差し支えるから」、「育児の心理的・肉体的負担が大きいから」がそれぞれ17.8%で、他の属性に比べて高くなっています。

図表 3-5-11 属性別、理想とする人数よりも子どもの人数が少ない理由

-複数回答(3つまで)-



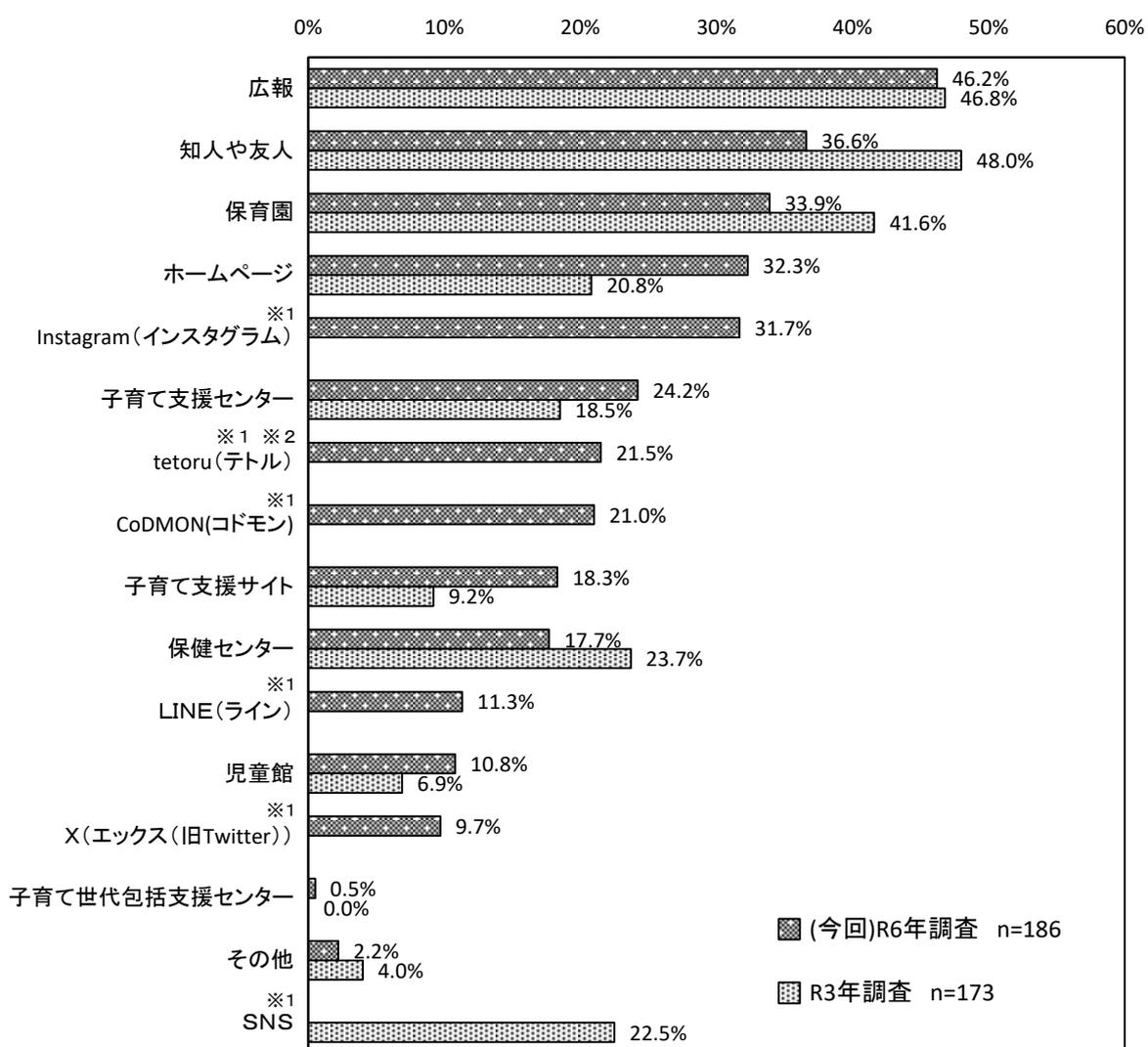
## (6) 子育てに関する情報源

問13 子育てに関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○印)

問9で、「すでに子どもがいる」と回答した186名を対象に、子育てに関する情報源をたずねたところ、「広報」が46.2%で最も高くなっています。次いで、「知人や友人」が36.6%、「保育園」が33.9%、「ホームページ」が32.3%、「Instagram(インスタグラム)」が31.7%となっており、いずれも3割以上の割合を示しています。

令和3年調査と比較すると、「ホームページ」は11.5ポイント、「子育て支援センター」は5.7ポイント高くなっていますが、「知人や友人」は11.4ポイント、「保育園」は7.7ポイント、「保健センター」は6.0ポイント低くなっています。

図表3-5-12 子育てに関する情報源 -複数回答(該当するものすべて)-



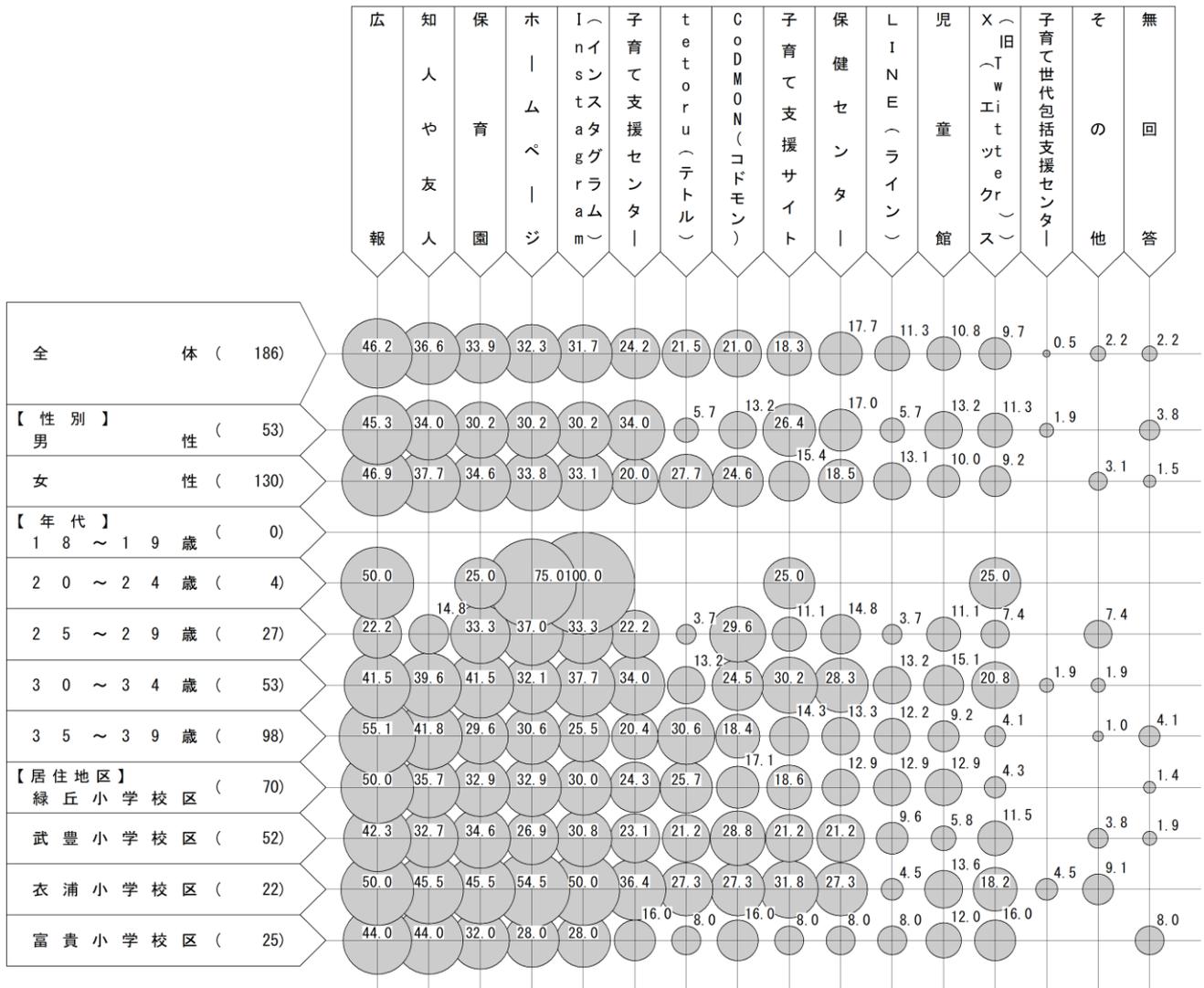
※1 「SNS」は、今年度調査では「CoDMON(コドモン)」「tetoru(テトル)」「LINE(ライン)」「X(エックス(旧Twitter))」「Instagram(インスタグラム)」の5つの選択肢に分けて調査を行った。

※2 「tetoru(テトル)」は、10月より「C4th Home&School」に移行。

以下、回答者の属性別に、子育てに関する情報源をみていきます。

性別	<p>○「広報」は、男性も女性も4割以上となっており、これらが主な情報源となっていることについて男女間での大きな差異はありません。</p> <p>○男性では、「子育て支援センター」が34.0%、「子育て支援サイト」が26.4%、「児童館」が13.2%、「X」が11.3%で、女性よりも高くなっていますが、このほかはほぼ女性の方が高くなっています。</p> <p>○女性では「tetoru」が27.7%、「CoDOMON」が24.6%で、男性よりも「tetoru」が22ポイント、「CoDOMON」が11.4ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○25～29歳では、「ホームページ」が37.0%で、最も高くなっていますが、「CoDOMON」が29.6%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34歳では、「広報」と「保育園」が41.5%で、最も高くなっていますが、「子育て支援サイト」が30.2%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○35～39歳になると、「広報」が最も高くなり、55.1%と、半数以上が利用しています。</p>
居住地区	<p>○どの小学校区も「広報」が高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区は「ホームページ」が54.5%で最も高くなっています。また、子育てに関する情報源として、「子育て支援サイト」の31.8%、「X」の18.2%をはじめ、他の小学校区と比べて高い割合を示す項目が多くなっています。</p>

図表 3-5-13 属性別、子育てに関する情報源 -複数回答（該当するものすべて）-



## (7) 子育てする上での支援策等【自由意見】

問14 子育てをする上で、どのようなことに参加してみたいですか、また、どのような支援策を充実してほしいと思われますか。自由に記述してください。

問9で、「すでに子どもがいる」と回答した186名を対象に、子育てをする上で、どのようなことに参加してみたいか、また、どのような支援策を望むかについて自由記述方式でたずねました。

具体的な意見は別添の参考資料に記します。

図表 3-5-14 子育てする上での支援策等

区分	意見数(件)
参加してみたいこと	41件
充実して欲しい支援	78件
その他	3件
計 (回答者数：92名)	122件

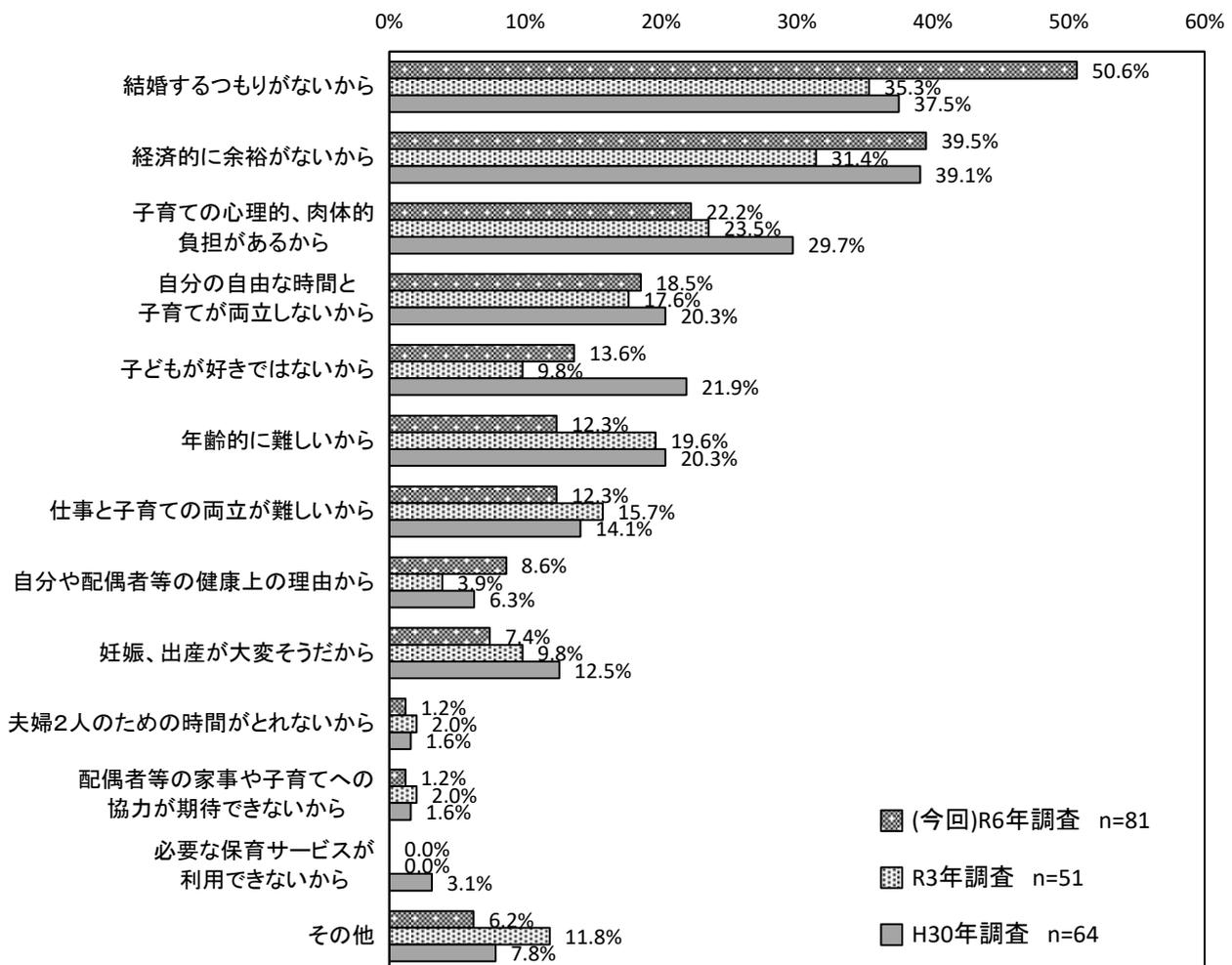
## (8) 子どもをほしいとは思わない理由

問15 子どもをほしいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○印を)

問9で子どもを「ほしいと思わない」と回答した81名を対象に、その理由をたずねたところ、「結婚するつもりがないから」が50.6%で最も高くなっています。令和3年調査に比べて15.3ポイント高くなっています。

これに次いで、「経済的に余裕がないから」が39.5%、「子育ての心理的、肉体的負担があるから」が22.2%、「自分の自由な時間と子育てが両立しないから」が18.5%、「子どもが好きではないから」が13.6%、「年齢的に難しいから」が12.3%と続いており、結婚しないこと、金銭的な問題、子育ての負担などが子どもをほしいと思わない理由となっています。

図表 3-5-15 子どもをほしいと思わない理由（過去調査との比較） -複数回答（3つまで）-



## (9) 子どもを持ちたいと思うための制度や環境

問16 あなたが子どもを持つ、またはもっと持ちたいと思うためには、どのような制度や環境が必要ですか。(3つまでに○印)

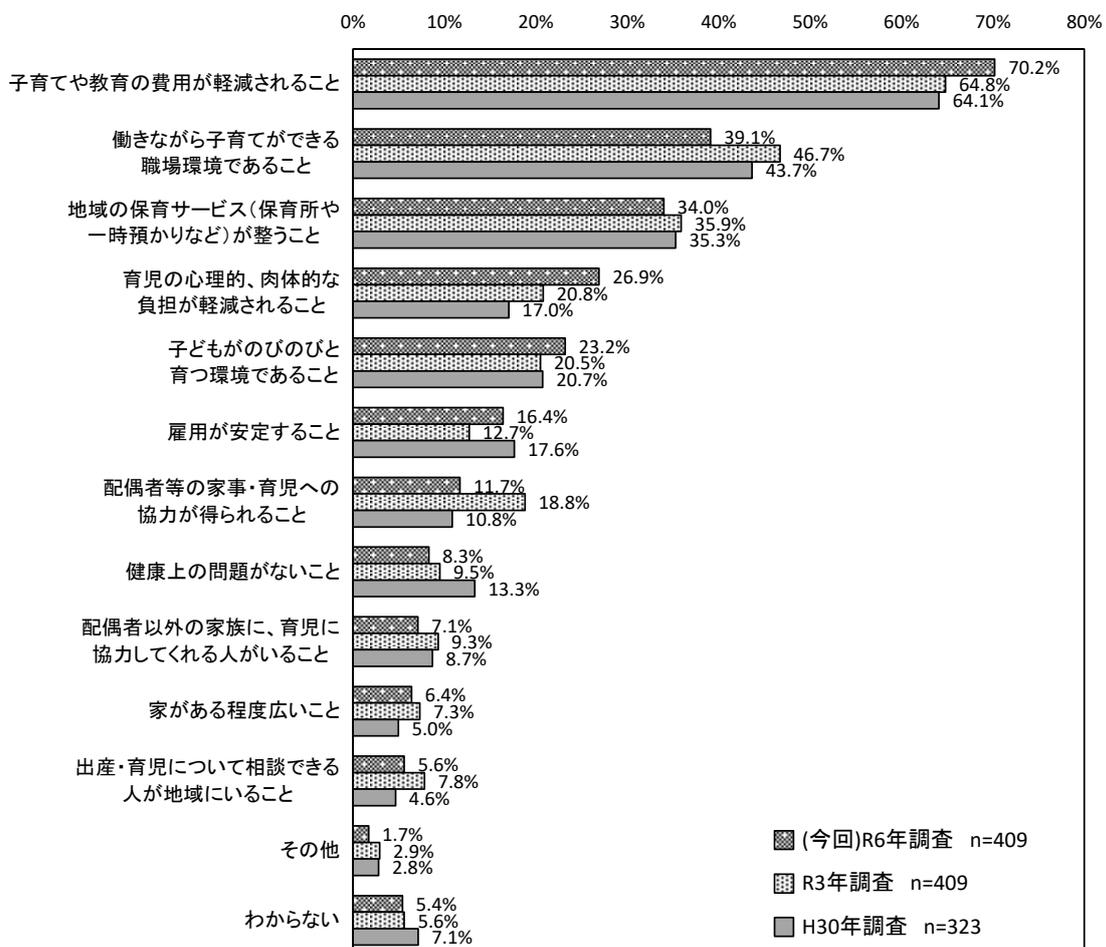
子どもを持つ、もっと持ちたいと思うための制度・環境としては、「子育てや教育の費用が軽減されること」が70.2%で最も高くなっています。次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が39.1%、「地域の保育サービス（保育場や一時預かりなど）が整うこと」が34.0%となっています。経済的負担の軽減、職場環境、地域の保育サービスが上位3つとなりました。

さらに、これらに次いで、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が26.9%、「子どもがのびのびと育つ環境であること」が23.2%、「雇用が安定すること」が16.4%と続いています。

令和3年調査と比較して、大きな変化はありませんが、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が6.1ポイント、「子育てや教育の費用が軽減されること」は5.4ポイント、「雇用が安定すること」が3.7ポイント高くなっている一方で、「働きながら子育てができる職場環境であること」や「地域の保育サービス（保育場や一時預かりなど）が整うこと」はポイントを下げていると、周囲の子育て環境は整ってきていますが、個人の育児や経済面で不安が高まっていることがうかがえます。

図表 3-5-16 子どもを持ちたいと思うための制度や環境（過去調査との比較）

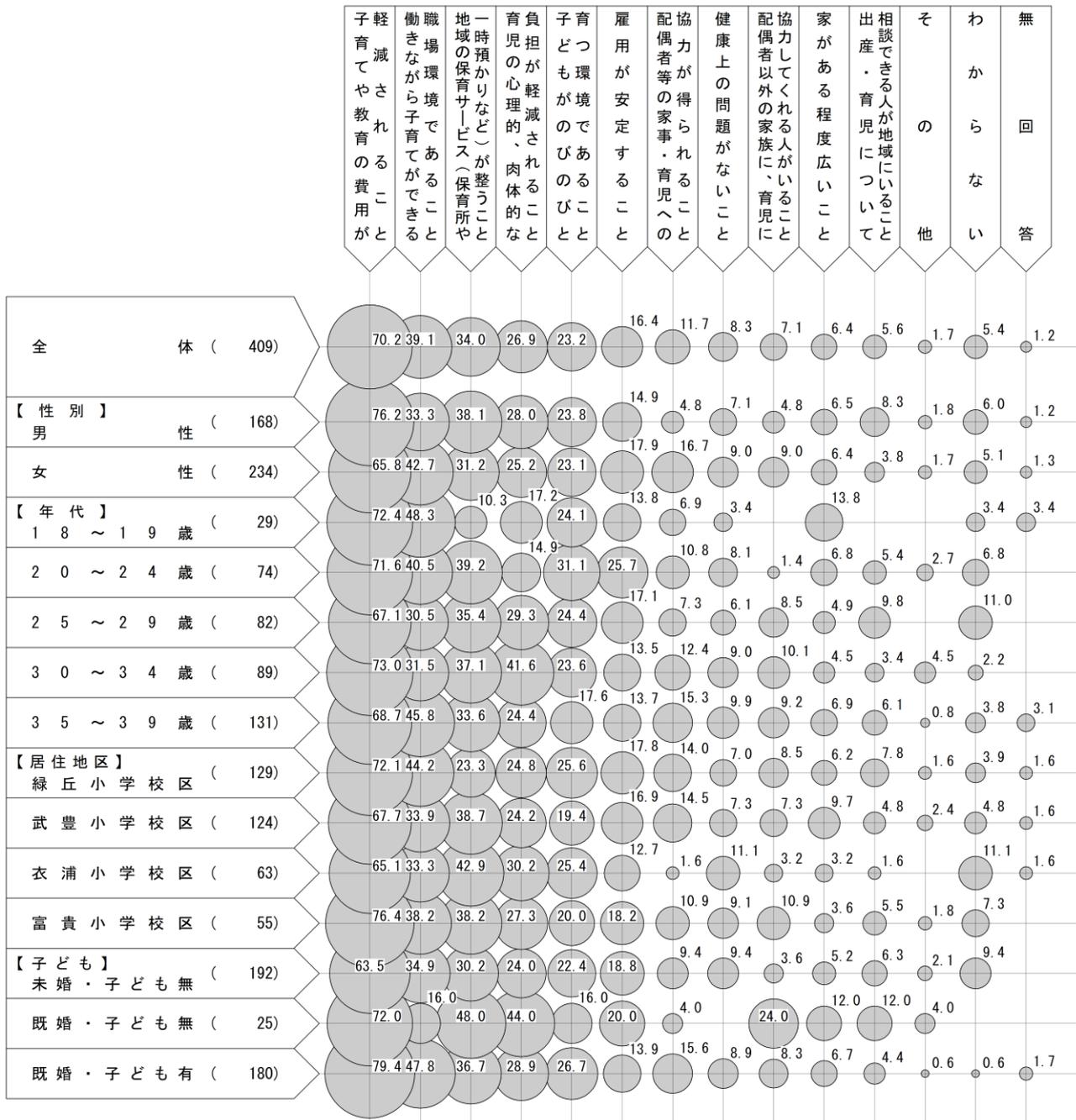
-複数回答（3つまで）-



以下、回答者の属性別に、子どもを持ちたいと思うための条件や環境をみていきます。

性別	<p>○男性では「子育てや教育の費用が軽減されること」が76.2%で最も高く、女性よりも10.4ポイント高くなっています。次いで「地域の保育サービスが整うこと」が38.1%で高く、女性よりも6.9ポイント高くなっています。</p> <p>○女性では「働きながら子育てができる職場環境であること」は42.7%で、男性よりも9.4ポイント高くなっています。また、女性では「配偶者の家事・育児への協力が得られること」が16.7%で、男性よりも11.9ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○20～24歳では「子どもがのびのびと育つ環境であること」が31.1%、「雇用が安定すること」が25.7%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34歳では「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が41.6%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校区では、「子どもがのびのびと育つ環境であること」が25.6%で、他の小学校区に比べてやや高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区では、「地域の保育サービスが整うこと」が42.9%、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が30.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○既婚・子ども有では、「子育てや教育の費用が軽減されること」が79.4%で最も高く、他の属性と比べても高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども無では、「地域の保育サービスが整うこと」が48.0%、「育児の心理的、肉体的な負担が軽減されること」が44.0%、「配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること」が24.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p>

図表 3-5-17 属性別、子どもを持ちたいと思うための制度や環境 -複数回答 (3つまで) -



## (10) 子育てしやすい町にするために力を入れること

問17 武豊町を子育てしやすい町と誇れるようになるためには、今後武豊町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまでに○印)

子育てしやすい町と誇れるようになるために力を入れるべきこととしては、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が30.3%で最も高くなっています。次いで、「学校教育の無償化(給食無償化など)」が25.9%、「子どもの病気やけが、妊娠、出産時に必要な医療が安心して受けられる環境」の24.4%、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」と「児童手当の拡充」がそれぞれ20.5%となっています。

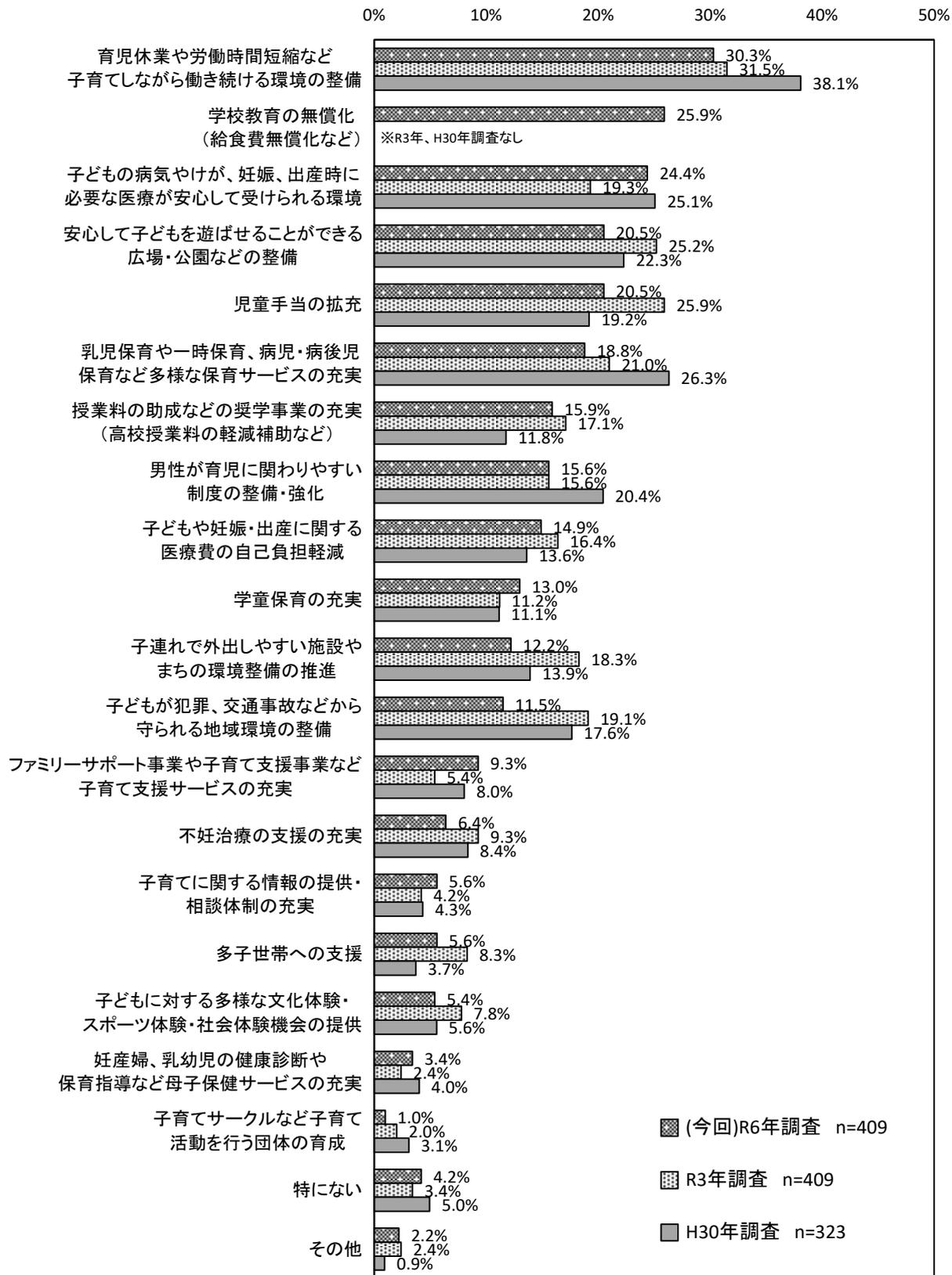
このほか、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」の18.8%、「授業料の助成などの奨学事業の充実(高校授業料の軽減補助など)」が15.9%、「男性が育児に関わりやすい制度の整備・強化」が15.6%と続いています。

令和3年調査と比較すると、「子どもの病気やけが、妊娠、出産時に必要な医療が安心して受けられる環境」が5.1ポイント、「ファミリーサポート事業や子育て支援事業など子育て支援サービスの充実」が3.9ポイント高くなっています。

一方、「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」は7.6ポイント、「子連れで外出しやすい施設やまちの環境整備の推進」は6.1ポイント、「児童手当の拡充」は5.4ポイント低下しています。

図表 3-5-18 属性別、子育てしやすい町にするために力を入れること

(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)-



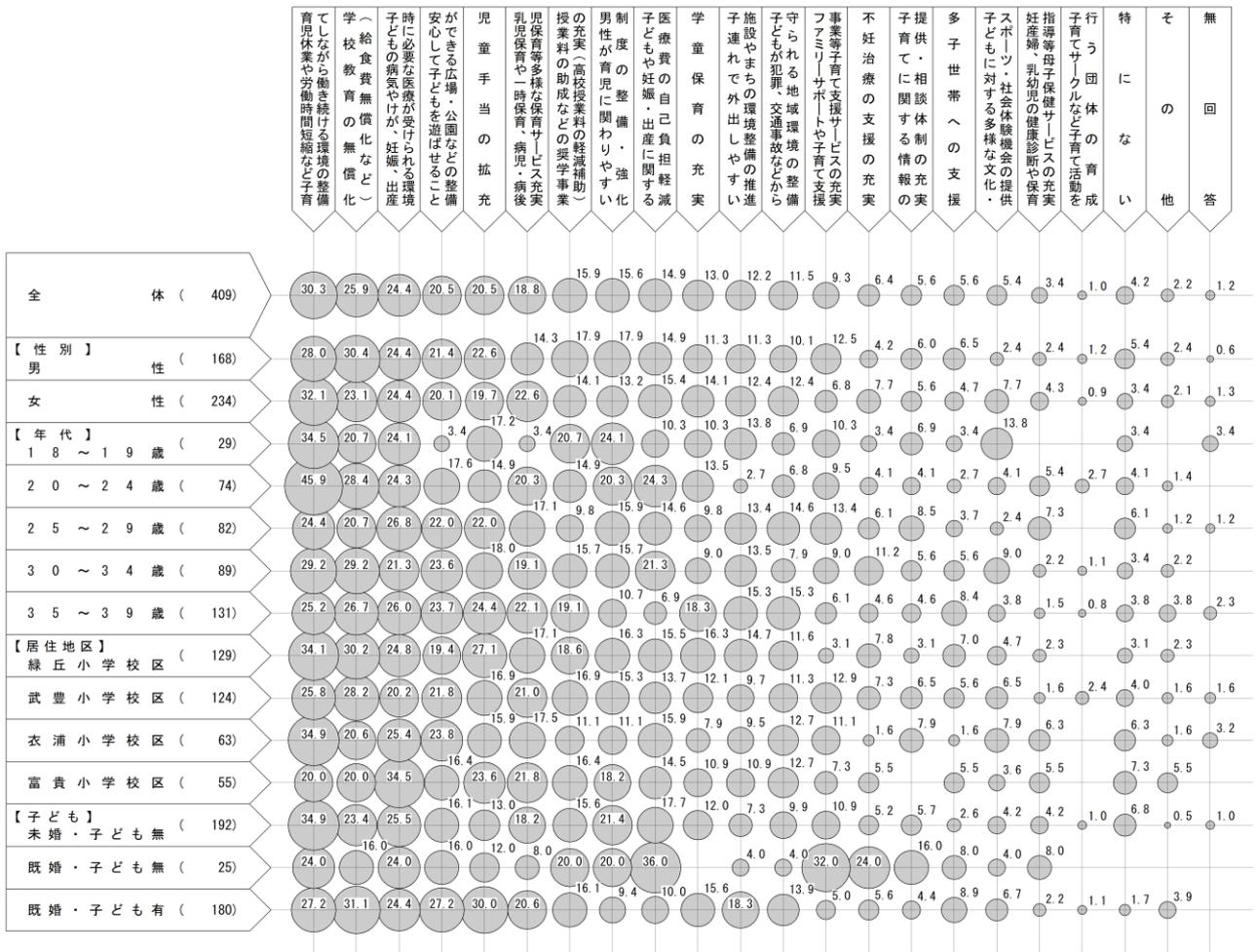
※今回調査より、新たに選択肢「学校教育の無償化(給食費無償化など)」を設けて回答を求めた。

以下、回答者の属性別に、子育てしやすい町にするために力を入れることをみていきます。

性別	<p>○女性では、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が 32.1%で最も高くなっており、男性に比べて 4.1 ポイント高くなっています。このほか、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実」が 22.6%で、男性に比べて 8.3 ポイント高くなっています。</p> <p>○男性では、「学校教育の無償化」が 30.4%で最も高く、女性に比べて 7.3 ポイント高くなっています。</p>
年代	<p>○18～19 歳では「男性が育児に関わりやすい制度の整備・強化」が 24.1%で、他の年代と比べて高くなっています。</p> <p>○20～24 歳では「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が 45.9%で最も高く、他の年代と比べても高くなっています。また、「子どもや妊婦・出産に関する医療費の自己負担軽減」が 24.3%で、他の年代と比べて高くなっています。</p> <p>○25～29 歳では「子どもの病気やけが、妊娠、出産時に必要な医療が安心して受けられる環境」が 26.8%で最も高く、また他の年代に比べても高くなっています。</p> <p>○30～34 歳では「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」と「学校教育の無償化」がそれぞれ 29.2%で最も高くなっています。</p> <p>○35～39 歳では「児童手当の拡充」が 24.4%、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」が 23.7%、「授業料の助成などの奨学事業の充実」が 19.1%で、他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○富貴小学校区では「子どもの病気やけが、妊娠、出産時に必要な医療が安心して受けられる環境」が 34.5%で最も高く、他の小学校区と比べても高くなっています。</p> <p>○緑丘小学校区では「学校教育の無償化」が 30.2%、「児童手当の拡充」が 27.1%、「授業料の助成などの奨学事業の充実」が 18.6%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○既婚・子ども無では「子どもや妊婦・出産に関する医療費の自己負担軽減」が 36.0%で最も高くなっています。また、「ファミリーサポートや子育て支援事業など子育て支援サービスの充実」が 32.0%、「不妊治療の支援の充実」が 24.0%で、他の属性に比べて高くなっています。</p> <p>○既婚・子ども有では「学校教育の無償化」が 31.1%で最も高く、次いで「児童手当の拡充」が 30.0%で、他の属性と比べても高くなっています。</p>

図表 3-5-19 属性別、子育てしやすい町にするために力を入れること

-複数回答(3つまで) -



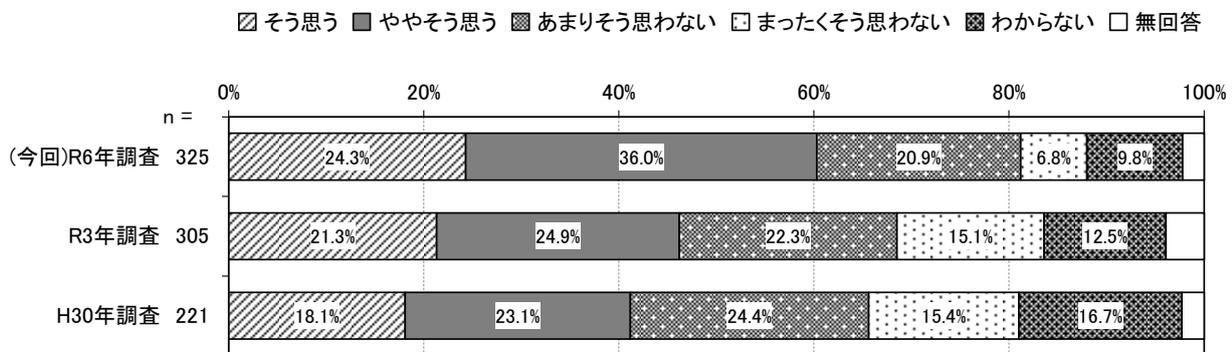
## (11) 子育てをする人にとっての働きやすさ

問18 あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思いますか。（1つに○印）

職場が子育てをする人にとって働きやすいかどうかについては、「そう思う」が24.3%、「ややそう思う」が36.0%で、あわせて60.3%が働きやすいと評価しています。一方で「あまりそう思わない」が20.9%、「まったくそう思わない」が6.8%で、合わせて27.7%が働きにくいと評価しています。

令和3年調査と比較すると、「そう思う」が3.0ポイント、「ややそう思う」が11.1ポイント、あわせて働きやすいの評価が14.1ポイント高まっており、職場の働き改革が進み、子育てをする人にとって働きやすくなってきていることがうかがえます。

図表 3-5-20 子育てをする人にとっての働きやすさ（過去調査との比較）

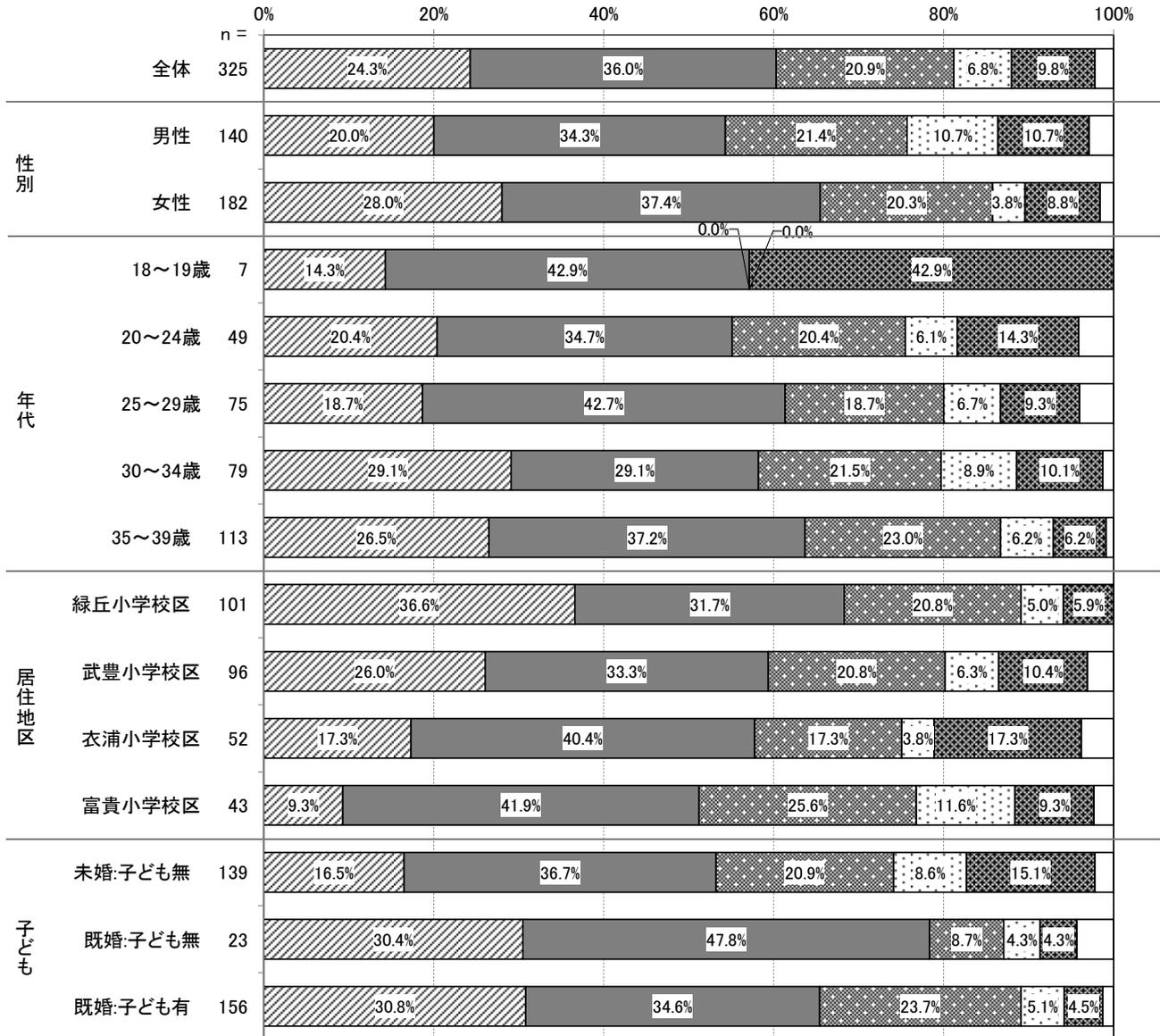


以下、回答者の属性別に「子育てをする人にとっての働きやすさ」をみていきます。

性別	○女性では「そう思う」が28.0%、「ややそう思う」が37.4%で、男性と比べて働きやすいと感じている割合は高くなっています。
年代	○35～39歳では「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合は63.7%で最も高く、他の年代に比べて、働きやすいと感じています。しかし、「あまりそう思わない」も23.0%で、他の年代に比べて高くなっています。
居住地区	○緑丘小学校区では「そう思う」が36.6%で最も高く、「ややそう思う」の31.7%をあわせた割合は68.3%と高い割合になっています。 ○富貴小学校区では「あまりそう思わない」が25.6%、「まったくそう思わない」が11.6%で、あわせて37.2%が働きにくいと評価しています。
結婚・子ども	○未婚・子ども無の「そう思う」は16.5%です。これに対し、既婚・子ども無の「そう思う」は30.4%、既婚・子ども有の「そう思う」は30.8%で、既婚者の方が「そう思う」が高くなっています。「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合をみても既婚者の方が高く、既婚者の方が、職場が働きやすいと感じている人が多くなっています。 ○既婚・子ども無では「あまりそう思わない」が8.7%に対し、既婚・子ども有では23.7%となっており、既婚者を子どもの有無で比較したとき、子どもがいない方が職場が働きやすいと感じている人が多くなっています。

図表 3-5-21 属性別、子育てをする人にとっての働きやすさ

□ そう思う ■ ややそう思う ▨ あまりそう思わない □ まったくそう思わない ▩ わからない □ 無回答



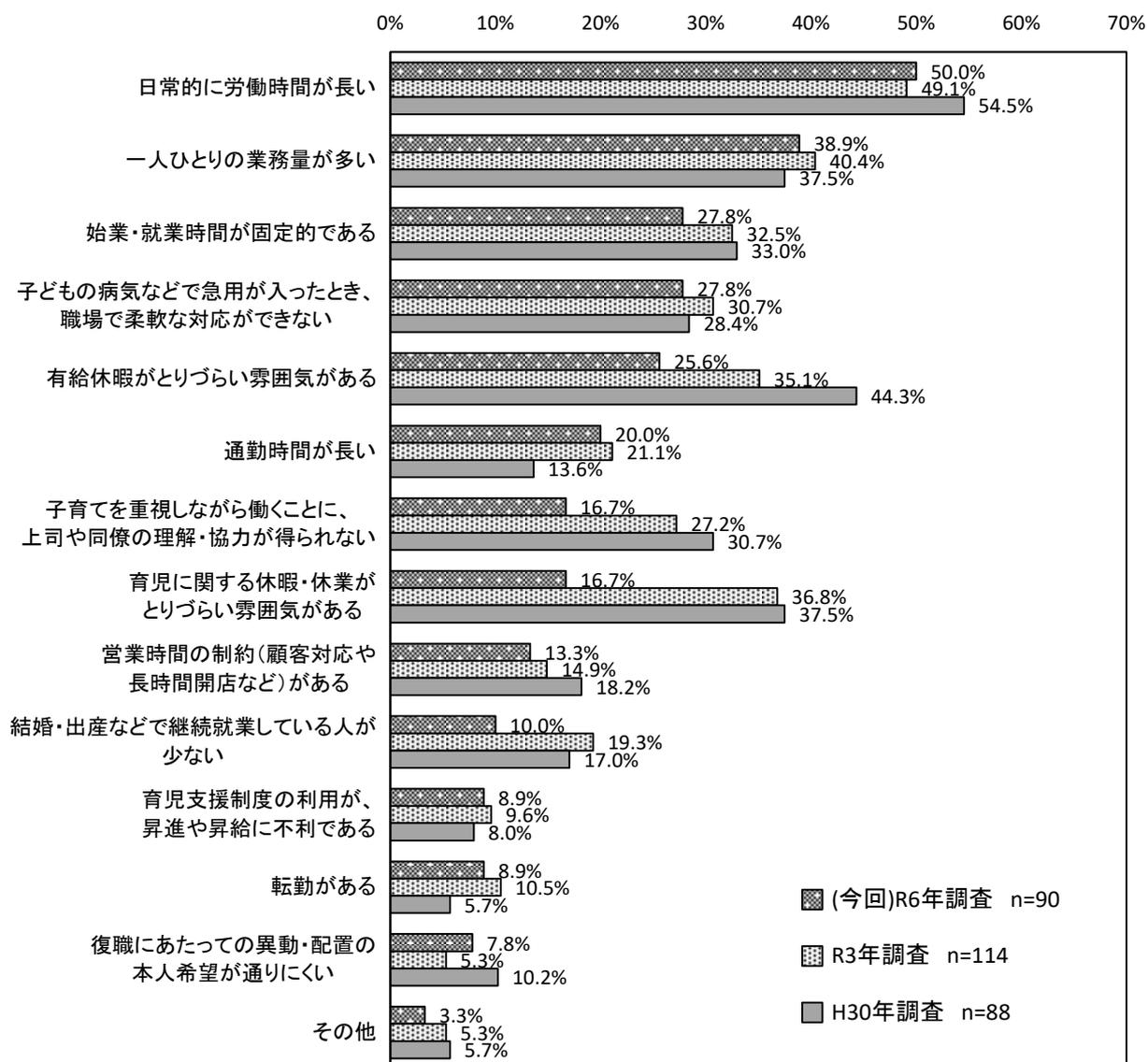
## (12) 働きやすい原因

問19 働きやすいのは、何が原因だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

前問で「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」と回答した90名から、職場が働きやすいと思う原因についてたずねたところ、「日常的に労働時間が長い」が50.0%で最も高くなっています。次いで「一人ひとりの業務量が多い」が38.9%、「始業・就業時間が固定的である」と「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」がそれぞれ27.8%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」が25.6%などとなっており、長時間労働や業務の他への分散などが難しいことなどが大きく影響していることがうかがえます。

令和3年調査と比較すると、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」が20.1ポイント、「子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない」が10.5ポイント、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」が9.5ポイント、「結婚・出産などで継続就業している人が少ない」が9.3ポイント低くなるなど、法令遵守などによる働き方改革が進んでいることがうかがえます。

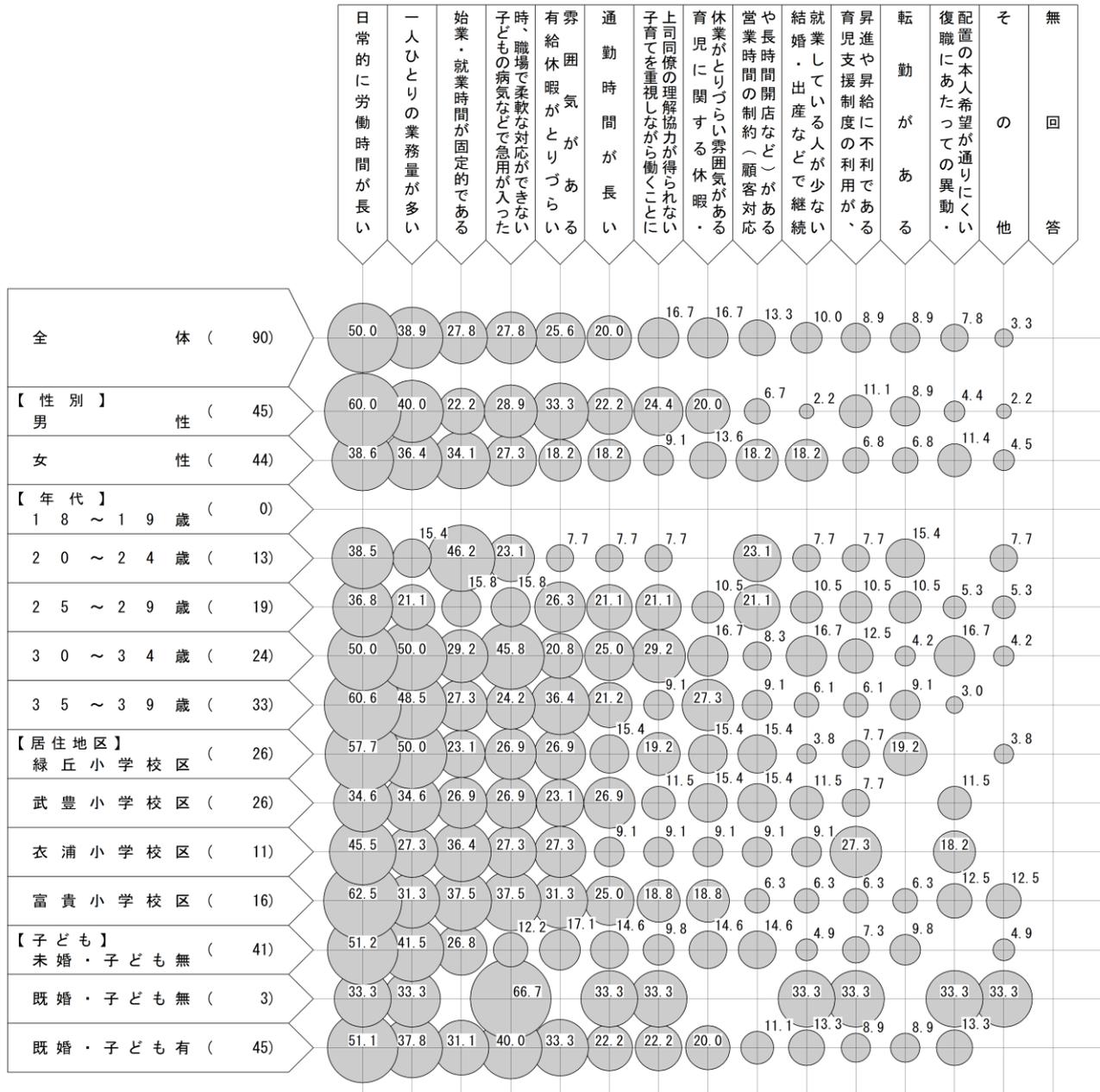
図表 3-5-22 働きやすい原因（過去調査との比較） -複数回答（該当するものすべて）-



以下、回答者の属性別に、働きやしくない原因をみていきます。

性別	<p>○男性では、「日常的に労働時間が長い」が60.0%で最も高く、次いで「一人ひとりの業務量が多い」の40.0%、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」の33.3%の順となっています。また、「子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない」が女性に比べて15.3ポイント高くなっているなど、男女で働きにくさが異なっています。</p> <p>○女性でも「日常的に労働時間が長い」が38.6%で最も高く、次いで「一人ひとりの業務量が多い」の36.4%ですが、その次は「始業・就業時間が固定的である」の34.1%となっています。また、「営業時間の制約がある」と「結婚・出産などで継続就業している人が少ない」がそれぞれ18.2%で、男性と比べて高くなっています。</p>
年代	<p>○20～24歳では「始業・就業時間が固定的である」が46.2%で最も高くなっています。また、「営業時間の制約がある」が23.1%、「転勤がある」が15.4%で、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○30～34歳では、「日常的に労働時間が長い」と「一人ひとりの業務量が多い」がそれぞれ50.0%で最も高く、次いで「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」が45.8%で高く、長時間労働や業務の他への分散などが難しいことなどが挙げられています。</p> <p>○35～39歳では、「日常的に労働時間が長い」が60.6%で最も高くなっています。また、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」が36.4%、「育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある」が27.3%と、休むことによる職場の雰囲気を懸念する人が他の年代に比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○衣浦小学校区では「育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である」が27.3%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p> <p>○緑丘小学校区では「転勤がある」が19.2%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</p>
結婚・子ども	<p>○既婚等・子ども有では、「日常的に労働時間が長い」が最も高くなっていますが、次いで「子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」の40.0%をはじめ、「一人ひとりの業務量が多い」、「有給休暇がとりづらい雰囲気がある」、「始業・就業時間が固定的である」が3割を超え高くなっています。</p>

図表 3-5-23 属性別、働きやすい原因 -複数回答（該当するものすべて）-



### 3-6 結婚についての考え方

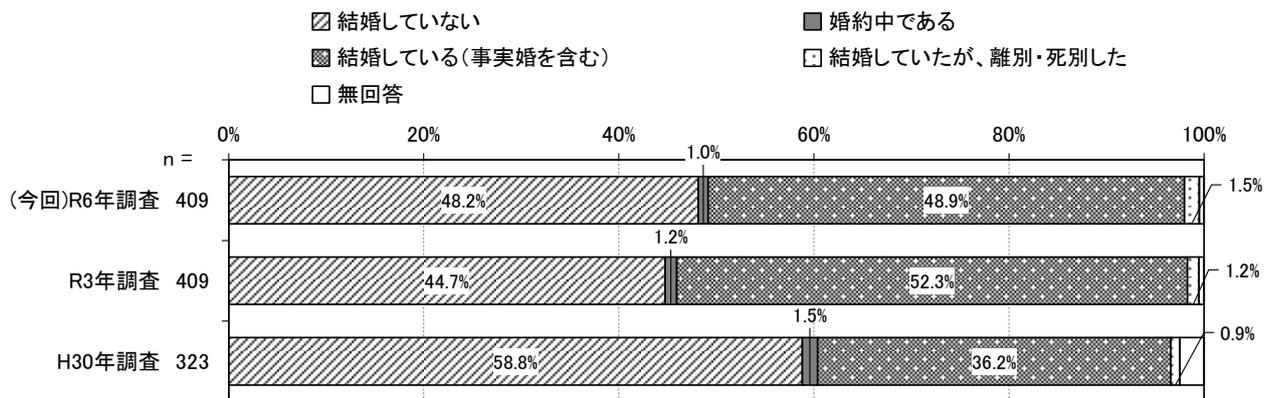
#### (1) 結婚について

問20 結婚について、教えてください。(1つに○印)

「結婚していない」は48.2%、「婚約中である」は1.0%、「結婚している」は48.9%、「結婚していたが、離別・死別した」が1.5%となっています。

令和3年調査と比較すると、「結婚していない」は3.5ポイント高くなり、「結婚している」は3.4ポイント低くなっています。

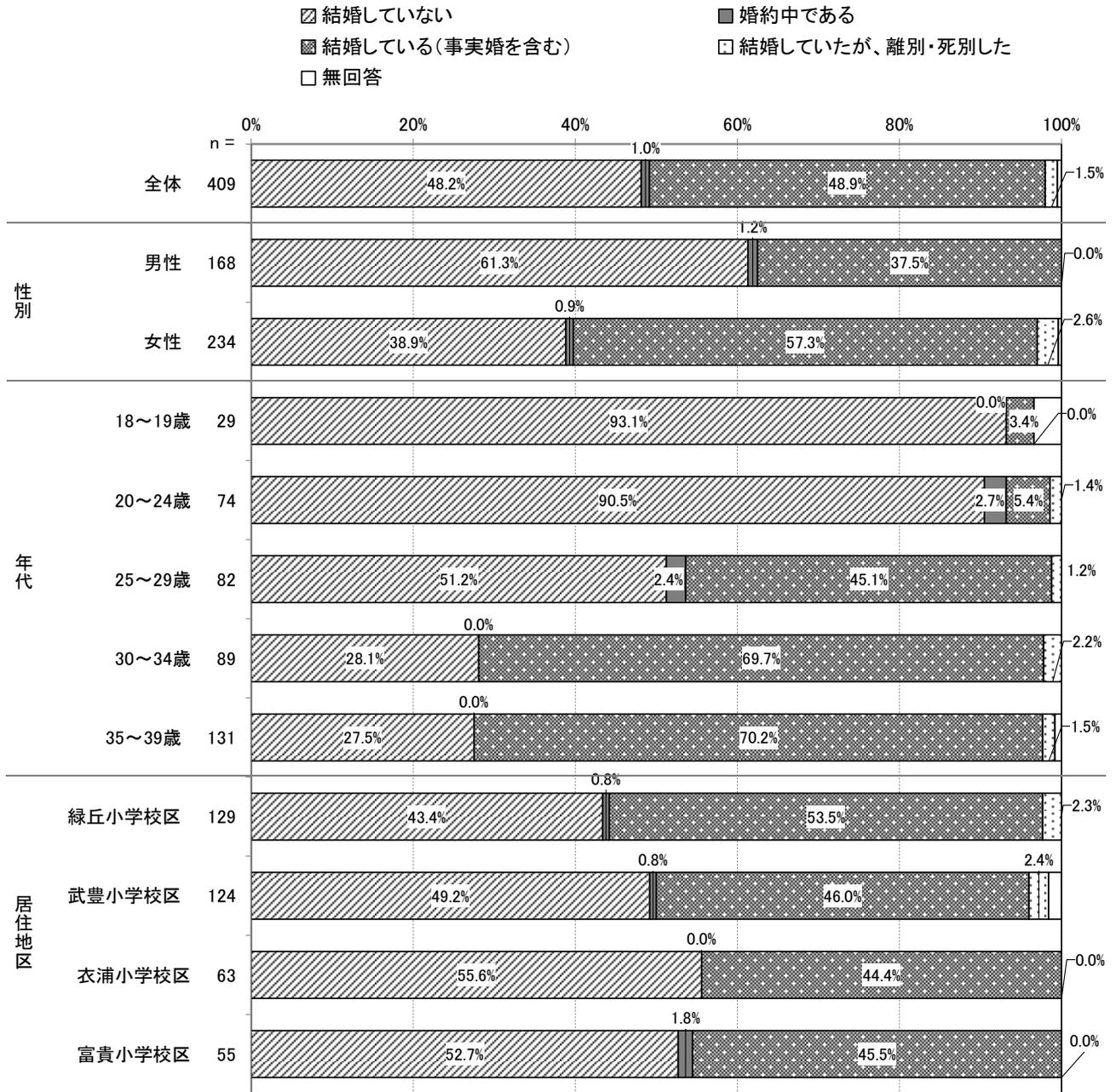
図表 3-6-1 結婚について (過去調査との比較)



以下、回答者の属性別に、結婚についてをみていきます。

性別	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「結婚していない」は男性が61.3%、女性が38.9%で、男性の方が22.4ポイント高くなっています。</li> <li>○「結婚している」は女性が57.3%、男性が37.5%で、女性の方が19.8ポイント高くなっています。</li> </ul>
年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年齢が高くなるにつれて、「結婚していない」の割合は低くなり、「結婚している」の割合が高くなっています。「結婚している」は30~34歳で69.7%、35~39歳では70.2%で、30歳代は約7割が結婚しています。</li> </ul>
居住地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緑丘小学校区では「結婚している」が53.5%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</li> <li>○衣浦小学校区では「結婚していない」が55.6%で、他の小学校区に比べて高くなっています。</li> </ul>

図表 3-6-2 属性別、結婚について



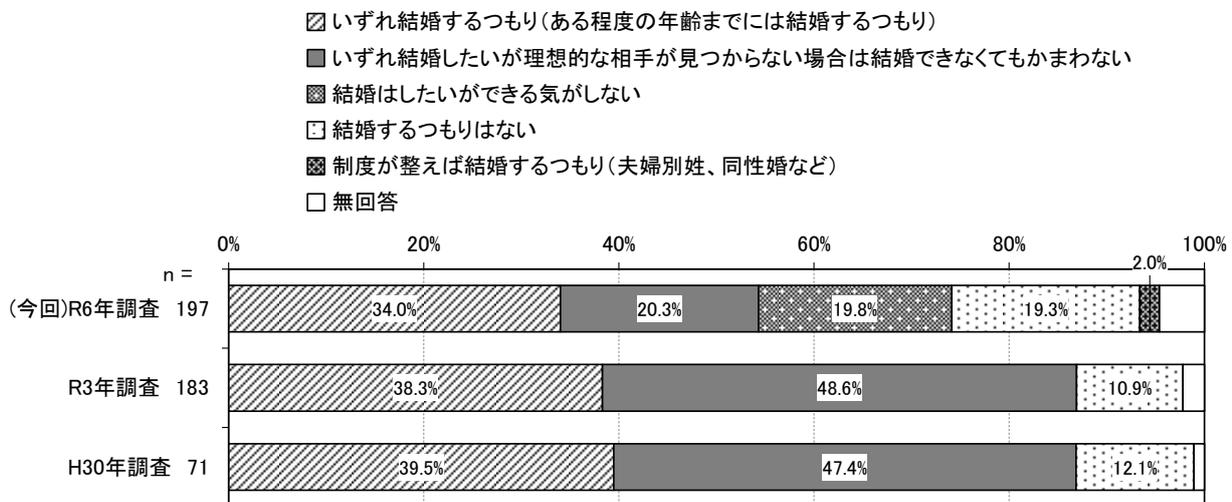
## (2) 結婚についての考え方

問21 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。(1つに○印)

前問で「結婚してない」と回答した197名の結婚感については、「いずれ結婚するつもり(ある程度の年齢までには結婚するつもり)」が34.0%、「いずれ結婚したいが理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が20.3%、「結婚はしたいができる気がしない」が19.8%、「結婚するつもりはない」が19.3%、「制度を整えば結婚するつもり(夫婦別姓、同性婚など)」が2.0%となっています。

令和3年調査と比較すると、選択肢は少し異なりますが、「いずれ結婚するつもり」は4.3ポイント低くなり、「結婚するつもりはない」は8.4ポイント高くなっています。

図表 3-6-3 結婚についての考え方(過去調査との比較)



※今年度調査より、新たに選択肢「いずれ結婚したいが理想的な相手が見つからない場合は結婚できなくてもかまわない」「制度を整えば結婚するつもり(夫婦別姓、同性婚など)」を設けて回答を求めた。

以下、回答者の属性別に、結婚についての考え方をみていきます。

性別	○「結婚するつもりはない」は男性が22.3%、女性が15.4%で、男性の方が6.9ポイント高くなっています。
年代	○「いずれ結婚するつもり」は18~19歳が74.1%、20~24歳が32.8%、25~29歳が40.5%と高くなっていますが、30~34歳では20.0%、35~39歳では8.3%と30歳代になるとかなり低くなってきます。 ○「いずれ結婚したいが理想的な相手が見つからない場合は結婚できなくてもかまわない」が30~34歳では36.0%で、最も高くなっています。 ○35~39歳になると、「結婚はしたいができる気がしない」が30.6%、「結婚するつもりはない」が36.1%で最も高く、他の年代に比べても高くなっています。

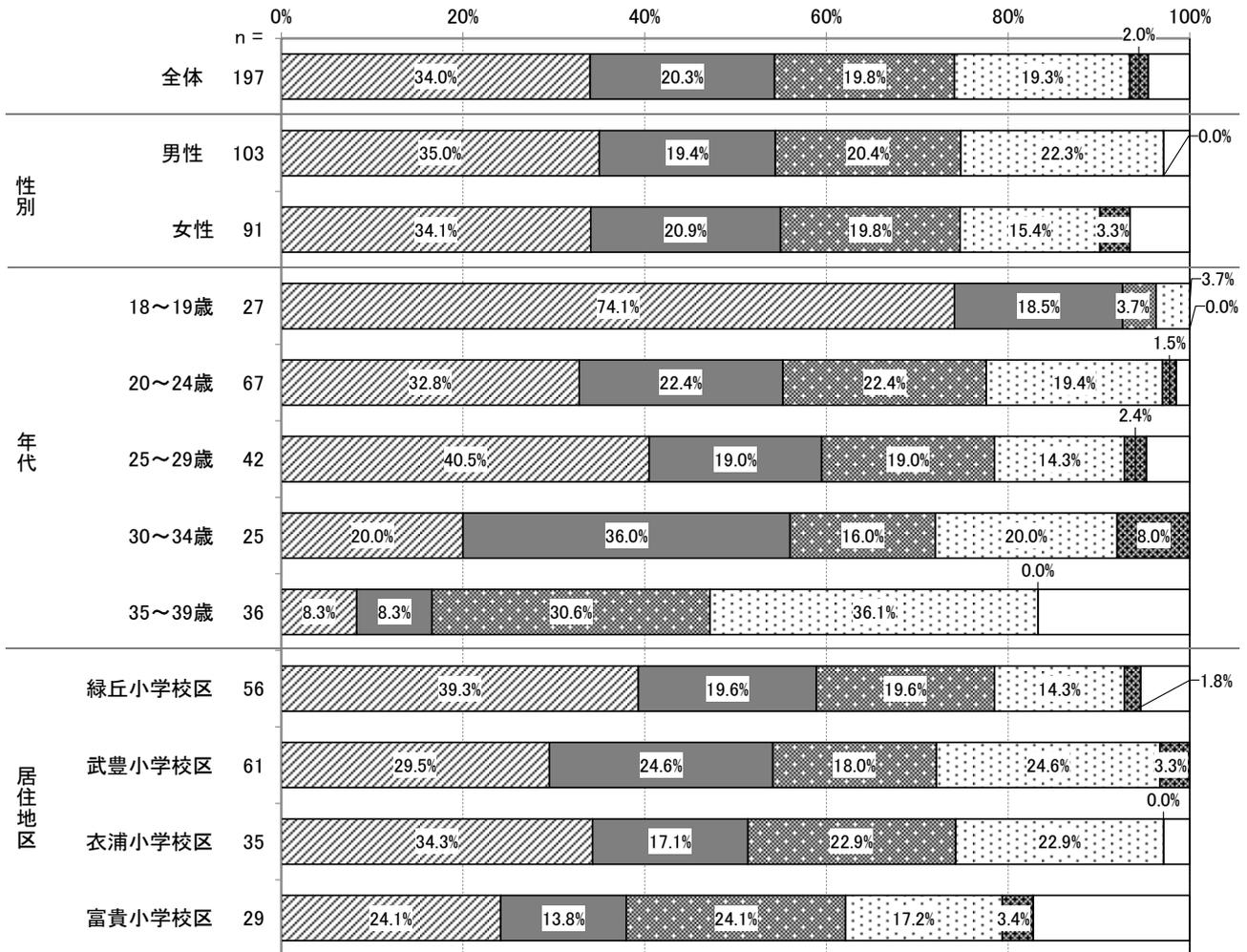
○緑丘小学校区では、「いずれ結婚するつもり」が39.3%で、他の小学校区に比べて高くなっています。

○武豊小学校区では、「いずれ結婚したいが理想的な相手が見つからない場合は結婚できなくてもかまわない」が24.6%、「結婚するつもりはない」が24.6%で、他の小学校区に比べて高くなっています。

○富貴小学校区では、「結婚したいができる気がしない」が24.1%で、他の小学校区に比べて高くなっています。

図表 3-6-4 属性別、結婚についての考え方

- ▨ いずれ結婚するつもり(ある程度の年齢までには結婚するつもり)
- いずれ結婚したいが理想的な相手が見つからない場合は結婚できなくてもかまわない
- ▩ 結婚はしたいができる気がしない
- 結婚するつもりはない
- ▨ 制度が整えば結婚するつもり(夫婦別姓、同性婚など)
- 無回答



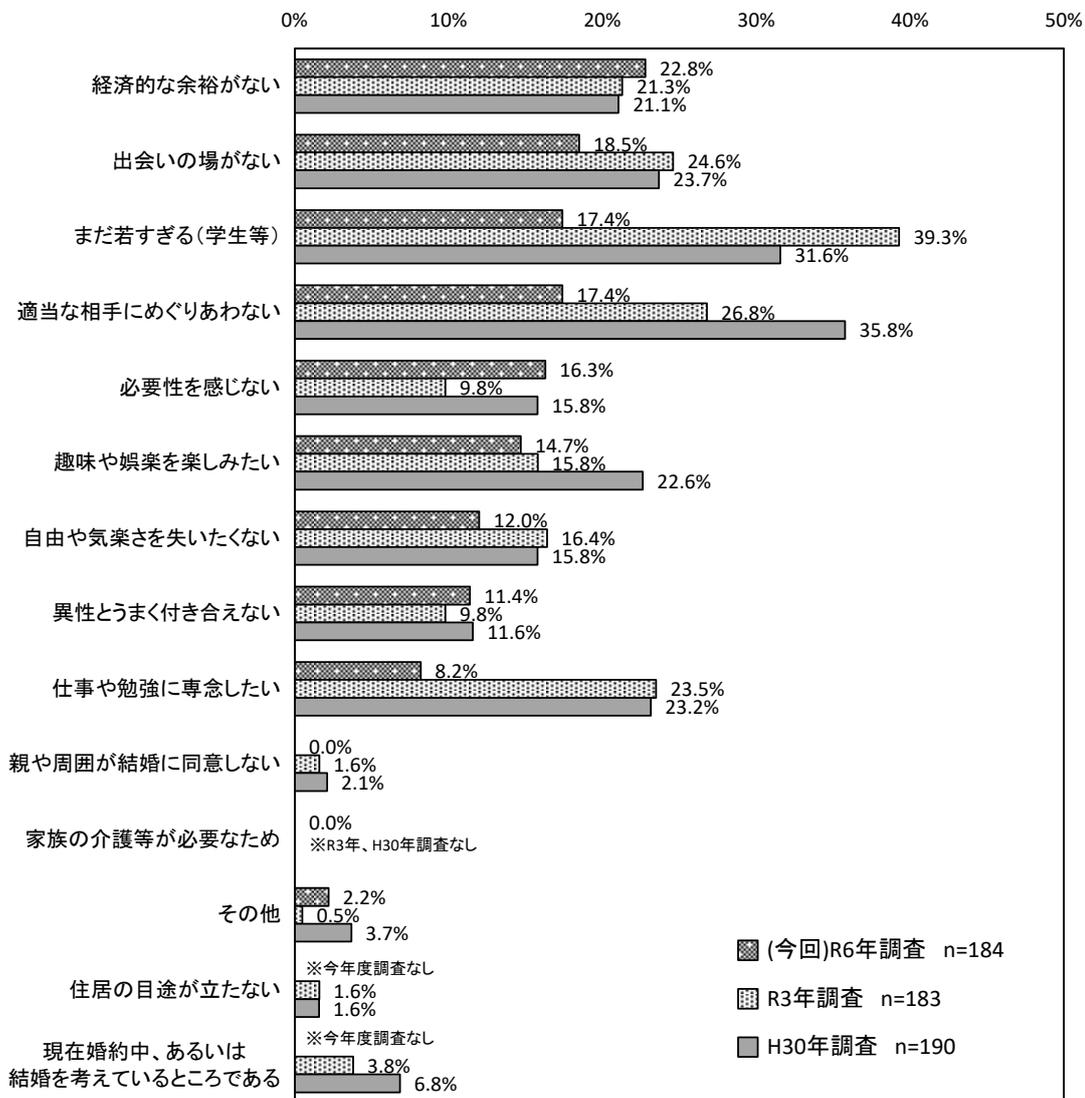
### (3) 結婚していない理由

問22 あなたは、今現在どのような理由で結婚していませんか。(3つまでに○印)

前問で「いずれ結婚するつもり」、「いずれ結婚したいが理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」、「結婚はしたいができる気がしない」、「結婚するつもりはない」と回答した184名に結婚していない理由についてたずねたところ、「経済的な余裕がない」が22.8%で最も高くなっています。次いで、「出会いの場がない」が18.5%、「まだ若すぎる」が17.4%、「適当な相手にめぐりあわない」が17.4%、「必要性を感じない」が16.3%、「趣味や娯楽を楽しみたい」が14.7%となっています。

令和3年調査と比較すると、「必要性を感じない」が6.5ポイント、「異性とうまく付き合えない」が1.6ポイント、「経済的な余裕がない」は1.5ポイント高くなっています。一方で、「まだ若すぎる」が21.9ポイント、「仕事や勉強に専念したい」が15.3ポイント、「適当な相手にめぐりあわない」が9.4ポイント、「出会いの場がない」が6.1ポイント低くなっています。

図表3-6-5 結婚していない理由（過去調査との比較） -複数回答（3つまで）-

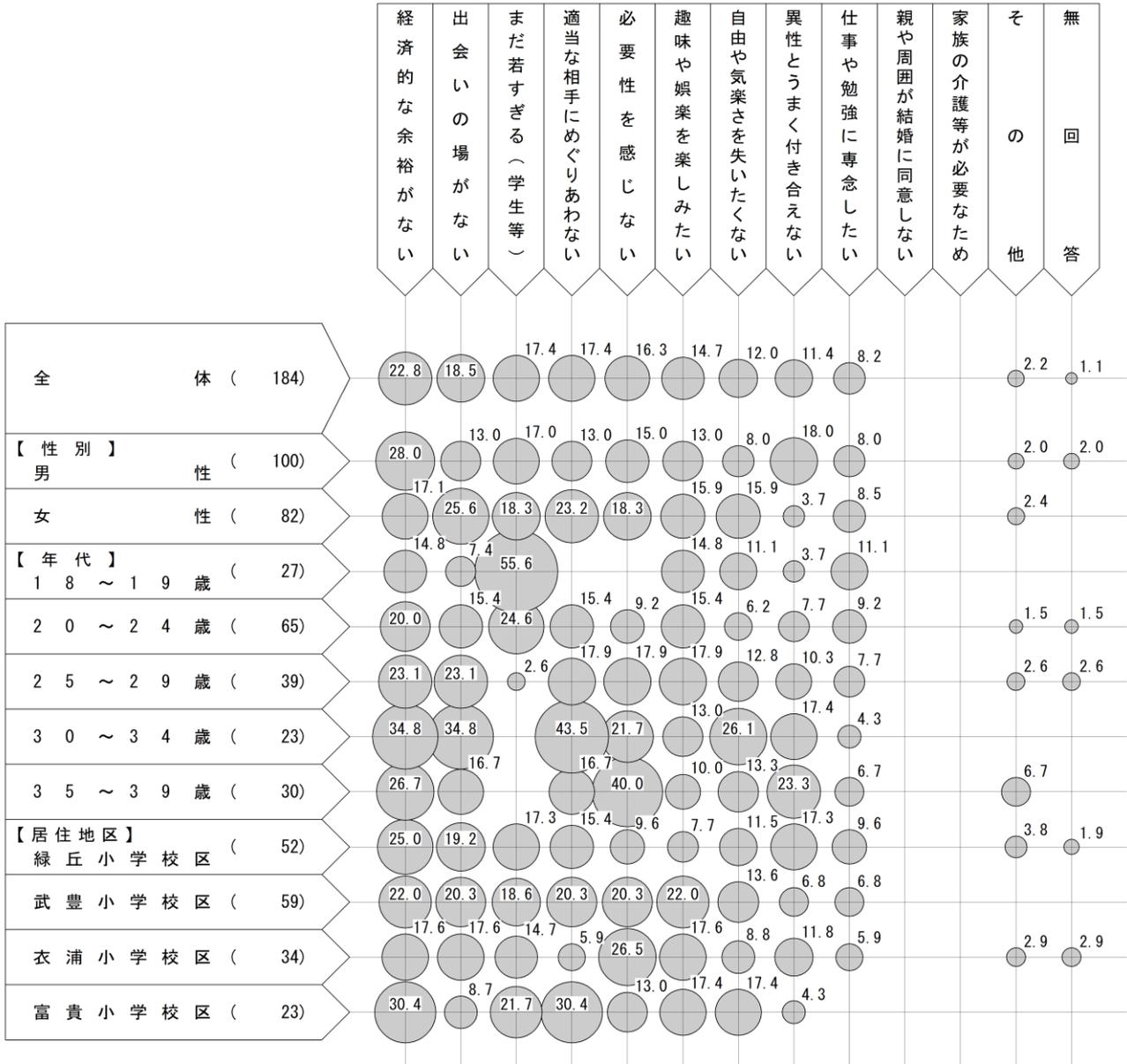


※今年度調査より、新たに選択肢「家族の介護等が必要なため」を設定して回答を求めた。

以下、回答者の属性別に、結婚していない理由をみていきます。

性別	<p>○男性では「経済的な余裕がない」が 28.0%で最も高く、女性に比べて 10.9 ポイント高くなっています。</p> <p>○女性では「出会いの場がない」が 25.6%、「適当な相手にめぐりあわない」が 23.2%で高くなっています。</p>
年代	<p>○18～19 歳、20～24 歳では、「まだ若すぎる」が最も高くなっています。</p> <p>○25～29 歳では、「経済的な余裕がない」と「出会いの場がない」がそれぞれ 23.1%で、最も高くなっています。</p> <p>○30～34 歳では、「適当な相手にめぐりあわない」が 43.5%と最も高く、また「経済的な余裕がない」、「出会いの場がない」に続いて「自由や気軽さを失いたくない」が、他の年代に比べて高くなっています。</p> <p>○34～39 歳になると、「必要性を感じない」が 40.0%で最も高くなっています。また、「異性とうまく付き合えない」が 23.3%で、他の年代と比べて高くなっています。</p>
居住地区	<p>○緑丘小学校区では「異性とうまく付き合えない」が 17.3%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p> <p>○武豊小学校区では、「趣味や娯楽を楽しみたい」が 22.0%、「出会いの場がない」が 20.3%で、他の小学校区と比べて高くなっています。</p> <p>○衣浦小学校区では「必要性を感じない」が 26.5%で最も高くなっています。</p> <p>○富貴小学校区では「経済的な余裕がない」と「適当な相手にめぐりあわない」がそれぞれ 30.4%で最も高くなっています。</p>

図表 3-6-6 属性別、結婚していない理由 -複数回答(3つまで) -



### 3-7 自由意見

#### (1) 魅力あるまちづくりに向けた意見・提案

問23 住まい、結婚、子育てについて、魅力あるまちづくりに向けたご意見・ご提案などございましたら、自由に記述してください。

魅力あるまちづくりに向けて、「住まい」、「結婚」、「子育て」などについてのご意見・ご提案が寄せられました。

具体的な意見は別添の参考資料に記します。

図表 3-7-1 まちづくりに向けた意見・提案

区分	件数
住まい	92 件
結婚	4 件
子育て	60 件
その他	24 件
計	180 件